

町民アンケート調査 結果報告書

平成28年9月
八雲町

目次

第1章 調査の目的と実施概要	1
1. 調査の目的.....	3
2. 実施概要.....	3
3. 調査結果の見方.....	3
第2章 調査結果	5
1. 回答者自身のことについて.....	7
2. 八雲町について.....	12
3. まちづくりの取り組みについて.....	25
4. 協働のまちづくりについて.....	28
5. 幸福度について.....	37
6. 北海道新幹線の全線開業について.....	41
7. 将来の八雲町について.....	45
8. 自由意見.....	47
第3章 町民満足度評価分析	49
1. 分析方法.....	51
2. 分析結果.....	52

第1章 調査の目的と実施概要

1. 調査の目的

本調査は、今後10年間（平成30年度～平成39年度）のまちづくりの指針となる「第2期八雲町総合計画」の策定にあたり、八雲町自治基本条例に基づき町民の皆様のお考えを把握するとともに、計画策定の基礎資料とするために実施しました。

2. 実施概要

調査対象者	八雲町内在住の18歳以上の方
抽出・配布数	無作為抽出で、3,000名
実施時期	平成28年7月
配布・回収方法	郵送による配布・回収
回収数	969票
回収率	32.3%

3. 調査結果の見方

- ◇第2章では、設問に応じ、S A（単数回答）、M A（複数回答）、F A（自由記述）の別を示しています。
- ◇各設問のカテゴリーや選択肢等について、表現を短縮・簡略化している場合があります。
- ◇集計結果のグラフのnの値は、当該設問の回答者数を示しています。
- ◇10年前に実施した町民アンケートに同一の設問がある場合は、結果をグラフで比較するとともに、特徴がみられる場合はその分析結果を記載しています。
- ◇性別・年齢別・地域別の特徴をみるため、各設問とのクロス集計結果の表を示すとともに、特徴がみられる場合は、その分析結果を記載しています。
- ◇集計結果のグラフ・表における比率（%）は、小数点第2位を四捨五入して算出・表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

第2章 調査結果

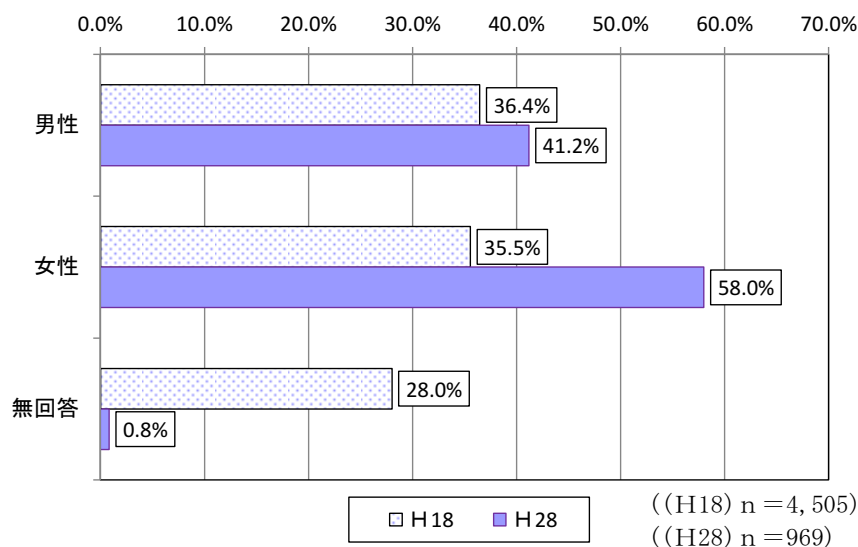
1. 回答者自身のことについて

問1. 回答者の属性

【SA】

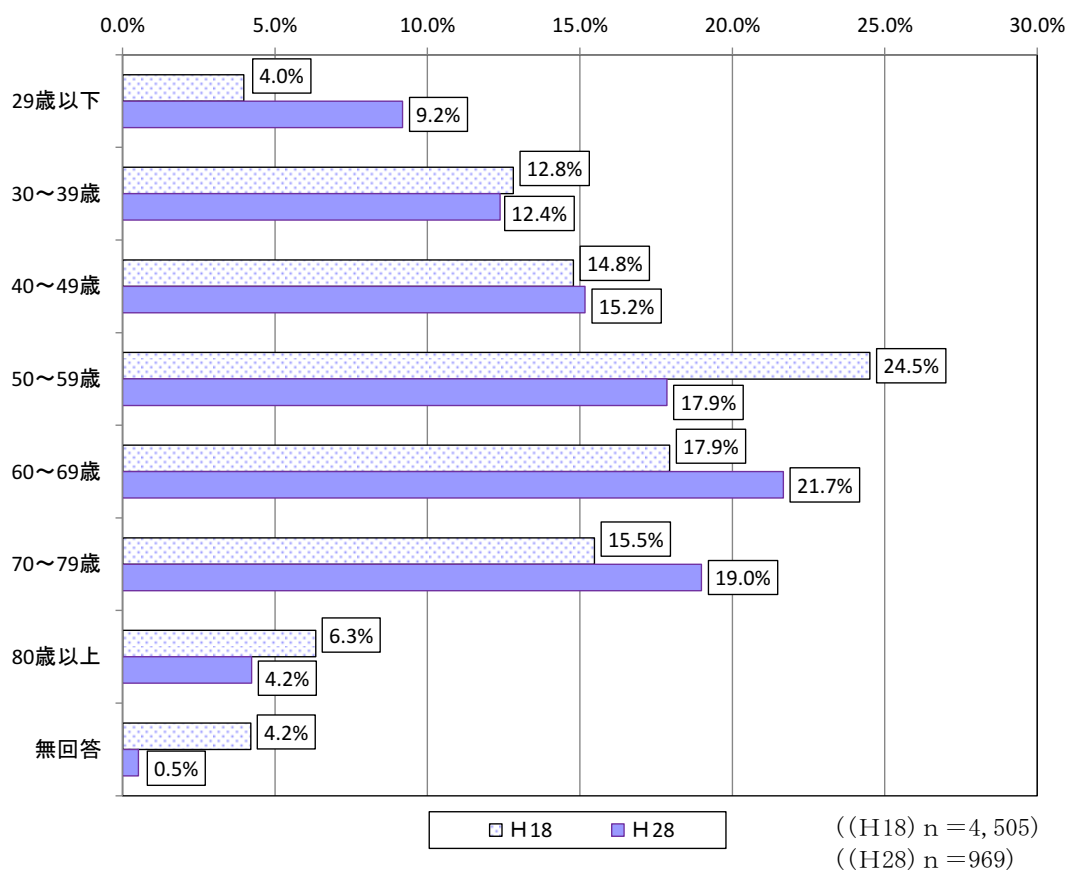
【①性別】

○「男性」41.2%、「女性」58.0%となっています。10年前の結果と比較すると、「無回答」が大きく減少し、「女性」が20ポイント以上増加しています。



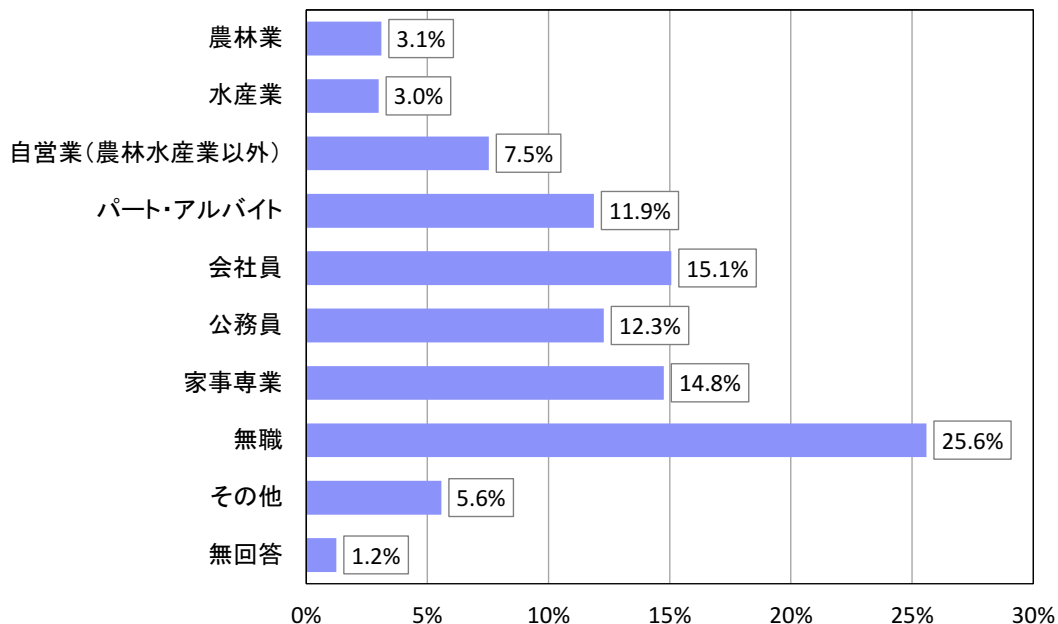
【②年齢】

○「60～69歳」が21.7%と最も高く、次いで「70～79歳」が19.0%、「50～59歳」が17.9%と全体的に高い年齢層の回答者が多くなっています。10年前の結果と比較すると、「30～39歳」「50～59歳」「80歳以上」が減少し、「29歳以下」「60～69歳」「70～79歳」が増加しています。



【③職業】

○「無職」が25.6%と最も高く、次いで「会社員」が15.1%、「家事専業」が14.8%となっています。なお、「女性」では「家事専業」が25.3%と最も高くなっています。

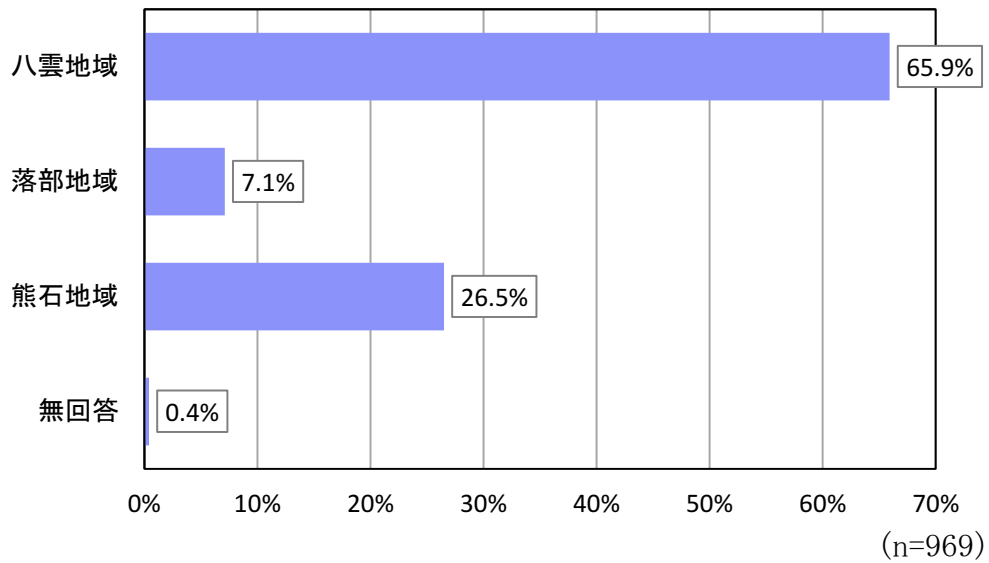


(n=969)

		合計	問1③ 現在の職業									
			農林業	水産業	自営業 (農林水 産業以 外)	パート・ アルバイト	会社員	公務員	家事専業	無職	その他	無回答
全体		969 100.0	30 3.1	29 3.0	73 7.5	115 11.9	146 15.1	119 12.3	143 14.8	248 25.6	54 5.6	12 1.2
性別	男性	399 100.0	18 4.5	17 4.3	36 9.0	21 5.3	90 22.6	69 17.3	0 0.0	126 31.6	19 4.8	3 0.8
	女性	562 100.0	12 2.1	12 2.1	37 6.6	94 16.7	56 10.0	49 8.7	142 25.3	121 21.5	35 6.2	4 0.7
年齢	29歳以下	89 100.0	2 2.2	0 0.0	1 1.1	10 11.2	22 24.7	33 37.1	7 7.9	5 5.6	9 10.1	0 0.0
	30～39歳	120 100.0	5 4.2	9 7.5	4 3.3	21 17.5	30 25.0	21 17.5	19 15.8	5 4.2	6 5.0	0 0.0
	40～49歳	147 100.0	4 2.7	7 4.8	12 8.2	18 12.2	43 29.3	29 19.7	29 19.7	18 12.2	4 2.7	10 6.8
	50～59歳	173 100.0	5 2.9	5 2.9	20 11.6	31 17.9	34 19.7	32 18.5	26 15.0	6 3.5	13 7.5	1 0.6
	60～69歳	210 100.0	6 2.9	5 2.4	19 9.0	30 14.3	15 7.1	4 1.9	34 16.2	87 41.4	10 4.8	0 0.0
	70～79歳	184 100.0	7 3.8	3 1.6	14 7.6	5 2.7	2 1.1	0 0.0	36 19.6	109 59.2	5 2.7	3 1.6
	80歳以上	41 100.0	1 2.4	0 0.0	3 7.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.3	32 78.0	1 2.4	1 2.4
住ま いの 地域	八雲地域	639 100.0	19 3.0	12 1.9	53 8.3	74 11.6	110 17.2	86 13.5	96 15.0	156 24.4	30 4.7	3 0.5
	落部地域	69 100.0	8 11.6	13 18.8	6 8.7	8 11.6	8 11.6	0 0.0	12 17.4	11 15.9	2 2.9	1 1.4
	熊石地域	257 100.0	3 1.2	4 1.6	14 5.4	33 12.8	28 10.9	33 12.8	35 13.6	81 31.5	22 8.6	4 1.6

【④お住まいの地域】

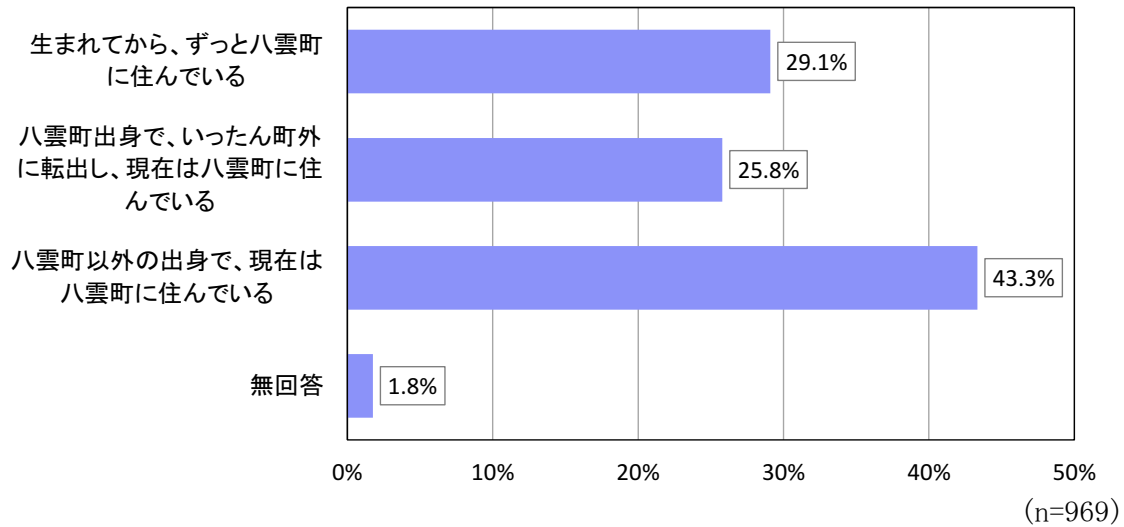
○八雲地域が 65.9%と最も高く、次いで熊石地域が 26.5%、落部地域が 7.1%となっています。



		合計	問1 ④ 現在のお住まいの地域			
			八雲地域	落部地域	熊石地域	無回答
全体		969 100.0	639 65.9	69 7.1	257 26.5	4 0.4
性別	男性	399 100.0	265 66.4	21 5.3	113 28.3	0 0.0
	女性	562 100.0	371 66.0	48 8.5	143 25.4	0 0.0
年齢	29歳以下	89 100.0	71 79.8	4 4.5	14 15.7	0 0.0
	30～39歳	120 100.0	81 67.5	10 8.3	29 24.2	0 0.0
	40～49歳	147 100.0	102 69.4	13 8.8	32 21.8	0 0.0
	50～59歳	173 100.0	104 60.1	12 6.9	57 32.9	0 0.0
	60～69歳	210 100.0	134 63.8	17 8.1	59 28.1	0 0.0
	70～79歳	184 100.0	121 65.8	11 6.0	52 28.3	0 0.0
	80歳以上	41 100.0	26 63.4	2 4.9	13 31.7	0 0.0

【⑤出身地】

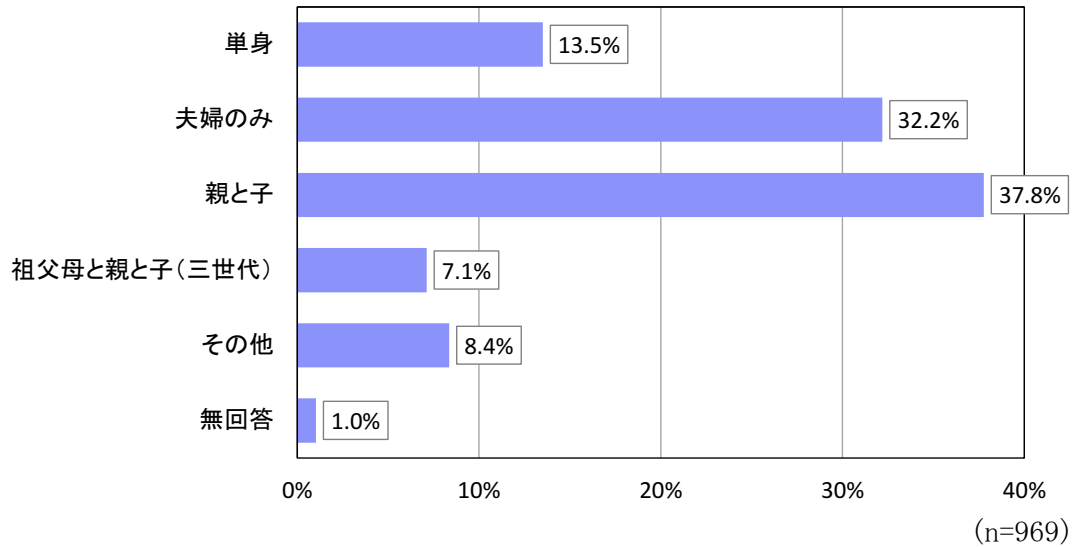
○「八雲町以外の出身で、現在は八雲町に住んでいる」が43.3%と最も高く、次いで「生まれてから、ずっと八雲町に住んでいる」が29.1%、「八雲町出身で、いったん町外に転出し、現在は八雲町に住んでいる」が25.8%となっています。



		合計	問1 ⑤ 出身地			
			生まれてから、ずっと八雲町に住んでいる	八雲町出身で、いったん町外に転出し、現在は八雲町に住んでいる	八雲町以外の出身で、現在は八雲町に住んでいる	無回答
全体		969 100.0	282 29.1	250 25.8	420 43.3	17 1.8
性別	男性	399 100.0	137 34.3	112 28.1	146 36.6	4 1.0
	女性	562 100.0	145 25.8	136 24.2	274 48.8	7 1.2
年齢	29歳以下	89 100.0	19 21.3	25 28.1	44 49.4	1 1.1
	30～39歳	120 100.0	29 24.2	30 25.0	61 50.8	0 0.0
	40～49歳	147 100.0	33 22.4	43 29.3	71 48.3	0 0.0
	50～59歳	173 100.0	51 29.5	51 29.5	67 38.7	4 2.3
	60～69歳	210 100.0	66 31.4	61 29.0	83 39.5	0 0.0
	70～79歳	184 100.0	63 34.2	33 17.9	81 44.0	7 3.8
	80歳以上	41 100.0	21 51.2	7 17.1	13 31.7	0 0.0
住まいの地域	八雲地域	639 100.0	165 25.8	151 23.6	316 49.5	7 1.1
	落部地域	69 100.0	24 34.8	18 26.1	27 39.1	0 0.0
	熊石地域	257 100.0	93 36.2	81 31.5	77 30.0	6 2.3

【⑥家族の構成】

○「親と子」が37.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が32.2%、「単身」が13.5%で、「祖父母と親と子（三世代）」は7.1%となっています。



		合計	問1 ⑥ 家族の構成					無回答
			単身	夫婦のみ	親と子	祖父母と親と子(三世代)	その他	
全体		969 100.0	131 13.5	312 32.2	366 37.8	69 7.1	81 8.4	10 1.0
性別	男性	399 100.0	54 13.5	141 35.3	147 36.8	23 5.8	32 8.0	2 0.5
	女性	562 100.0	76 13.5	170 30.2	219 39.0	46 8.2	48 8.5	3 0.5
年齢	29歳以下	89 100.0	29 32.6	10 11.2	42 47.2	8 9.0	0 0.0	0 0.0
	30～39歳	120 100.0	8 6.7	10 8.3	74 61.7	16 13.3	12 10.0	0 0.0
	40～49歳	147 100.0	16 10.9	18 12.2	84 57.1	12 8.2	16 10.9	1 0.7
	50～59歳	173 100.0	20 11.6	59 34.1	61 35.3	14 8.1	17 9.8	2 1.2
	60～69歳	210 100.0	23 11.0	108 51.4	53 25.2	7 3.3	19 9.0	0 0.0
	70～79歳	184 100.0	25 13.6	90 48.9	42 22.8	8 4.3	16 8.7	3 1.6
	80歳以上	41 100.0	10 24.4	16 39.0	10 24.4	4 9.8	1 2.4	0 0.0
	住まいの地域	八雲地域	639 100.0	96 15.0	195 30.5	247 38.7	42 6.6	56 8.8
落部地域		69 100.0	3 4.3	18 26.1	24 34.8	17 24.6	7 10.1	0 0.0
熊石地域		257 100.0	32 12.5	99 38.5	95 37.0	10 3.9	18 7.0	3 1.2

2. 八雲町について

問2. 八雲町の良さ

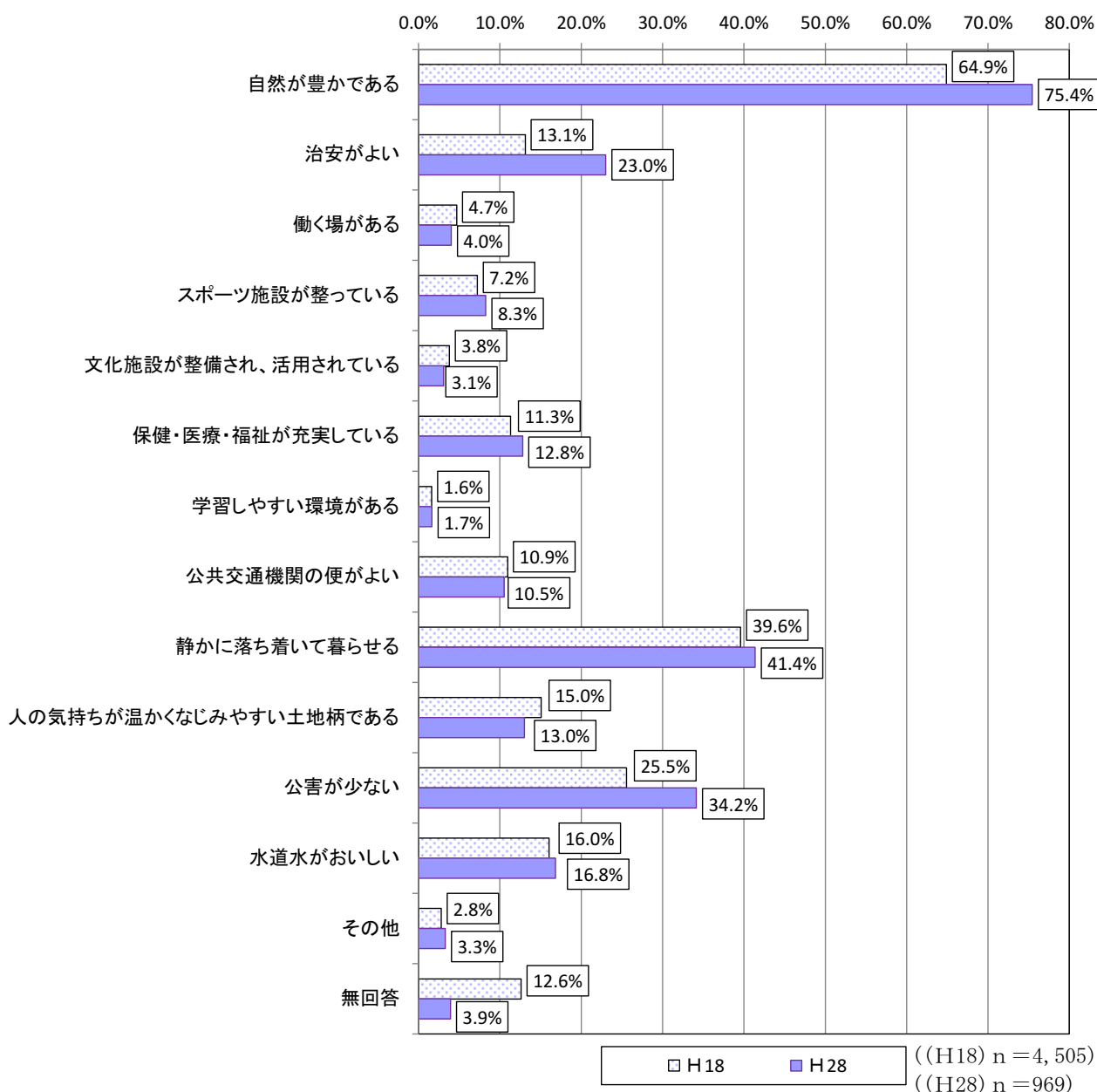
【MA】

<全体>

○「自然が豊かである」が75.4%と最も高く、次いで「静かに落ち着いて暮らせる」が41.4%、「公害が少ない」が34.2%となっています。10年前の結果と比較すると、「自然が豊かである」「公害が少ない」「治安がよい」がそれぞれ10ポイント程度増加しています。

<年齢別>

○年齢が低いほど「自然が豊かである」の回答の割合が高くなる傾向があり、“80歳以上”の68.3%に対し、“29歳以下”では83.1%となっています。一方で、年齢が高くなるほど「保健・医療・福祉が充実している」「公害が少ない」「水道水がおいしい」の回答の割合が高くなる傾向がみられます。



		合計	問2 八雲町の良さ									
			自然が豊 かである	治安がよ い	働く場が ある	スポーツ 施設が 整っている	文化施設 が整備さ れ、活用 されている	保健・医 療・福祉 が充実し ている	学習しや すい環境 がある	公共交通 機関の便 がよい	静かに落 ち着いて 暮らせる	人の気持 ちが温か くなじみ やすい土 地柄であ る
性別	全体	969 100.0	731 75.4	223 23.0	39 4.0	80 8.3	30 3.1	124 12.8	16 1.7	102 10.5	401 41.4	126 13.0
	男性	399 100.0	307 76.9	100 25.1	13 3.3	45 11.3	10 2.5	56 14.0	6 1.5	51 12.8	173 43.4	47 11.8
	女性	562 100.0	419 74.6	122 21.7	26 4.6	34 6.0	19 3.4	68 12.1	9 1.6	51 9.1	225 40.0	79 14.1
年齢	29歳以下	89 100.0	74 83.1	16 18.0	5 5.6	11 12.4	3 3.4	8 9.0	4 4.5	8 9.0	39 43.8	12 13.5
	30～39歳	120 100.0	91 75.8	31 25.8	5 4.2	11 9.2	7 5.8	7 5.8	2 1.7	4 3.3	45 37.5	17 14.2
	40～49歳	147 100.0	113 76.9	30 20.4	7 4.8	19 12.9	3 2.0	11 7.5	4 2.7	14 9.5	56 38.1	11 7.5
	50～59歳	173 100.0	133 76.9	45 26.0	12 6.9	6 3.5	4 2.3	24 13.9	1 0.6	16 9.2	80 46.2	25 14.5
	60～69歳	210 100.0	153 72.9	59 28.1	7 3.3	19 9.0	9 4.3	31 14.8	2 1.0	31 14.8	87 41.4	21 10.0
	70～79歳	184 100.0	136 73.9	33 17.9	3 1.6	12 6.5	3 1.6	33 17.9	2 1.1	26 14.1	75 40.8	31 16.8
	80歳以上	41 100.0	28 68.3	8 19.5	0 0.0	1 2.4	1 2.4	10 24.4	0 0.0	3 7.3	17 41.5	9 22.0
住ま いの 地域	八雲地域	639 100.0	478 74.8	134 21.0	35 5.5	71 11.1	24 3.8	96 15.0	12 1.9	99 15.5	254 39.7	55 8.6
	落部地域	69 100.0	56 81.2	24 34.8	2 2.9	5 7.2	1 1.4	7 10.1	2 2.9	2 2.9	33 47.8	13 18.8
	熊石地域	257 100.0	194 75.5	65 25.3	2 0.8	3 1.2	5 1.9	21 8.2	2 0.8	1 0.4	113 44.0	58 22.6

		合計	問2 八雲町の良さ			
			公害が少 ない	水道水が おいしい	その他	無回答
性別	全体	969 100.0	331 34.2	163 16.8	32 3.3	38 3.9
	男性	399 100.0	124 31.1	65 16.3	15 3.8	9 2.3
	女性	562 100.0	206 36.7	95 16.9	17 3.0	28 5.0
年齢	29歳以下	89 100.0	20 22.5	10 11.2	4 4.5	2 2.2
	30～39歳	120 100.0	24 20.0	11 9.2	6 5.0	7 5.8
	40～49歳	147 100.0	52 35.4	23 15.6	5 3.4	4 2.7
	50～59歳	173 100.0	42 24.3	21 12.1	6 3.5	8 4.6
	60～69歳	210 100.0	78 37.1	43 20.5	6 2.9	8 3.8
	70～79歳	184 100.0	94 51.1	44 23.9	4 2.2	5 2.7
	80歳以上	41 100.0	21 51.2	10 24.4	1 2.4	3 7.3
住ま いの 地域	八雲地域	639 100.0	230 36.0	80 12.5	21 3.3	24 3.8
	落部地域	69 100.0	22 31.9	9 13.0	0 0.0	3 4.3
	熊石地域	257 100.0	79 30.7	73 28.4	11 4.3	10 3.9

問3. 八雲町の欠点

【MA】

<全体>

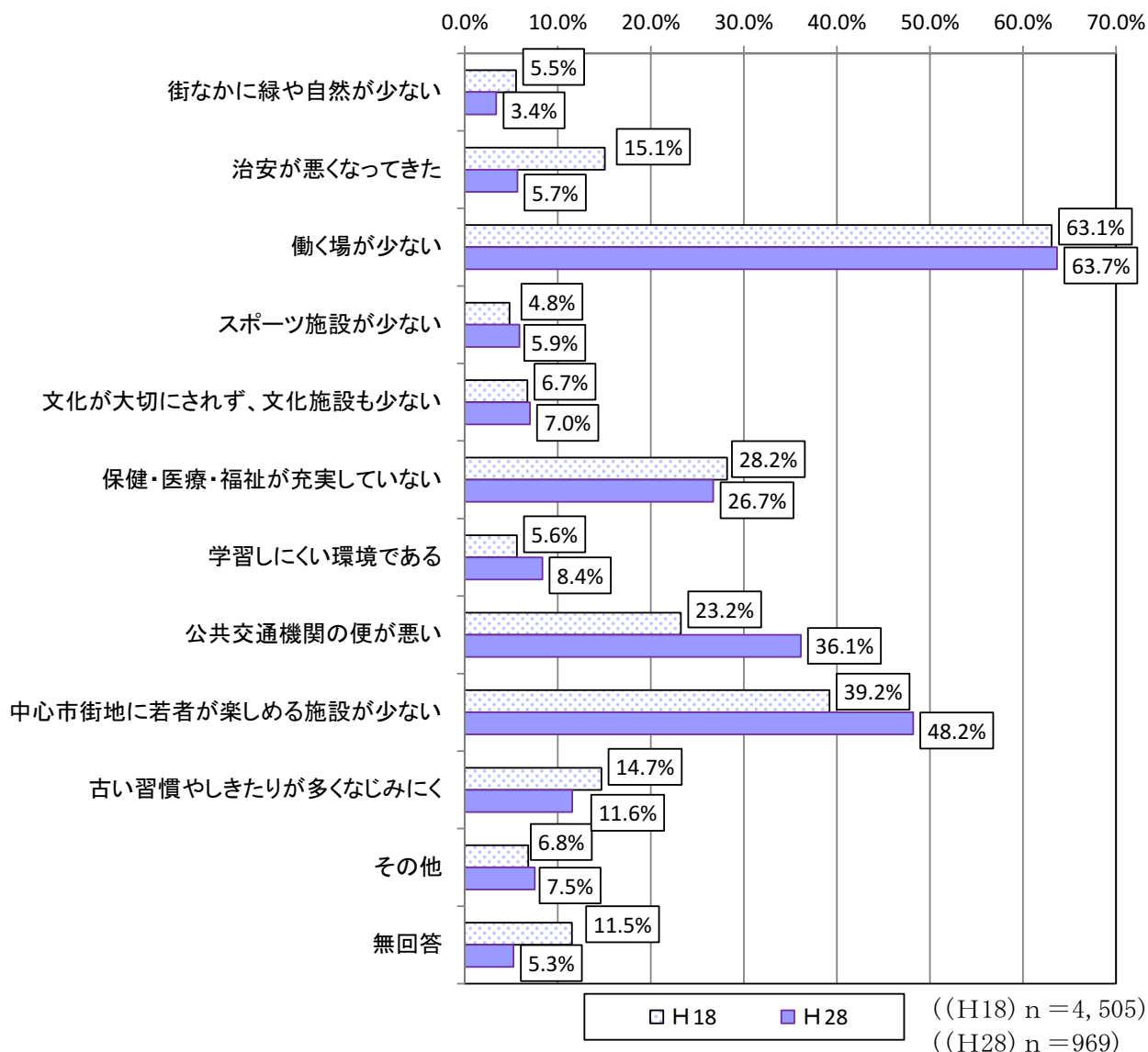
○「働く場が少ない」が63.7%と最も高く、次いで「中心市街地に若者が楽しめる施設が少ない」が48.2%、「公共交通機関の便が悪い」が36.1%となっています。10年前の結果と比較すると、「治安が悪くなってきた」が10ポイント程度減少している一方で、「公共交通機関の便が悪い」「中心市街地に若者が楽しめる施設が少ない」はそれぞれ10ポイント程度増加しています。

<年齢別>

○年齢が低いほど「中心市街地に若者が楽しめる施設が少ない」の回答の割合が高くなる傾向があり、“29歳以下”、“30～39歳”では最も高くなっています。

<地域別>

○熊石地域では「働く場が少ない」が82.1%と他の地域と比較して特に高くなっています。また、「公共交通機関の便が悪い」については、“八雲地域”の24.4%に対し、“落部地域”は50.7%、“熊石地域”は61.9%と高くなっています。。



	合計	問3 八雲町の欠点										
		街なかに 緑や自然 が少ない	治安が悪 くなって きた	働く場が 少ない	スポーツ 施設が少 ない	文化が大 切にされ ず、文化 施設も少 ない	保健・医 療・福祉 が充実し ていない	学習しに くい環境 である	公共交通 機関の便 が悪い	中心市街 地に若者 が楽しめ る施設が 少ない	古い習慣 やしきた りが多く なじみに く	
全体	969 100.0	33 3.4	55 5.7	617 63.7	57 5.9	68 7.0	259 26.7	81 8.4	350 36.1	467 48.2	112 11.6	
性別	男性	399 100.0	13 3.3	15 3.8	276 69.2	23 5.8	26 6.5	96 24.1	43 10.8	131 32.8	200 50.1	49 12.3
	女性	562 100.0	20 3.6	40 7.1	336 59.8	33 5.9	42 7.5	161 28.6	38 6.8	219 39.0	262 46.6	61 10.9
年齢	29歳以下	89 100.0	0 0.0	7 7.9	44 49.4	8 9.0	2 2.2	23 25.8	11 12.4	35 39.3	54 60.7	7 7.9
	30～39歳	120 100.0	2 1.7	9 7.5	66 55.0	8 6.7	2 1.7	40 33.3	19 15.8	37 30.8	70 58.3	22 18.3
	40～49歳	147 100.0	4 2.7	8 5.4	91 61.9	10 6.8	2 1.4	49 33.3	22 15.0	51 34.7	74 50.3	20 13.6
	50～59歳	173 100.0	5 2.9	6 3.5	119 68.8	8 4.6	10 5.8	47 27.2	12 6.9	75 43.4	79 45.7	17 9.8
	60～69歳	210 100.0	5 2.4	11 5.2	139 66.2	10 4.8	23 11.0	48 22.9	8 3.8	74 35.2	88 41.9	22 10.5
	70～79歳	184 100.0	14 7.6	11 6.0	131 71.2	9 4.9	24 13.0	42 22.8	5 2.7	63 34.2	84 45.7	20 10.9
	80歳以上	41 100.0	3 7.3	3 7.3	24 58.5	3 7.3	5 12.2	8 19.5	4 9.8	15 36.6	16 39.0	3 7.3
住ま いの 地域	八雲地域	639 100.0	26 4.1	43 6.7	363 56.8	31 4.9	55 8.6	178 27.9	54 8.5	156 24.4	360 56.3	85 13.3
	落部地域	69 100.0	2 2.9	1 1.4	41 59.4	6 8.7	3 4.3	21 30.4	5 7.2	35 50.7	29 42.0	5 7.2
	熊石地域	257 100.0	5 1.9	11 4.3	211 82.1	19 7.4	10 3.9	59 23.0	22 8.6	159 61.9	76 29.6	21 8.2

	合計	問3 八雲町の欠点		
		その他	無回答	
全体	969 100.0	73 7.5	51 5.3	
性別	男性	399 100.0	37 9.3	10 2.5
	女性	562 100.0	35 6.2	40 7.1
年齢	29歳以下	89 100.0	4 4.5	6 6.7
	30～39歳	120 100.0	14 11.7	5 4.2
	40～49歳	147 100.0	16 10.9	3 2.0
	50～59歳	173 100.0	17 9.8	8 4.6
	60～69歳	210 100.0	11 5.2	11 5.2
	70～79歳	184 100.0	10 5.4	13 7.1
	80歳以上	41 100.0	1 2.4	4 9.8
住ま いの 地域	八雲地域	639 100.0	54 8.5	36 5.6
	落部地域	69 100.0	5 7.2	5 7.2
	熊石地域	257 100.0	14 5.4	9 3.5

問4. 八雲町にしかない魅力

【FA】

○274 人の方から 468 のご意見をいただきました。

分類	出身	キーワード	件数
自然・環境	生まれてから ずっと八雲町に 住んでいる	2つの海（太平洋と日本海）がある	10
		海・山・川が共存	10
		その他（自然が豊か、静かに暮らせる等）	27
	いったん転出し 現在は八雲町に 住んでいる	2つの海（太平洋と日本海）がある	14
		海・山・川が共存	8
		その他（自然が豊か、適温、海洋深層水、風景等）	27
	八雲町以外の 出身	2つの海（太平洋と日本海）がある	19
		風景（ハーベスター、パノラマパーク等）	10
		その他（自然が豊か、海と山が共存、星がきれい等）	50
	小 計		
食・観光	生まれてから ずっと八雲町に 住んでいる	食べ物がおいしい（海・山の幸、新鮮、水等）	22
		観光（温泉、パノラマパーク等）	3
		イベント（山車行列、花火大会）	2
	いったん転出し 現在は八雲町に 住んでいる	食べ物がおいしい（海・山の幸、乳製品、水等）	14
		観光（温泉、八雲神社、特産品等）	5
		イベント（行燈祭り等）	2
	八雲町以外の 出身	食べ物がおいしい（海・山の幸、肉、乳製品等）	37
		観光（温泉、釣り、キャンプ、パノラマパーク等）	21
		イベント（山車行列等）	7
小 計			113
その他	生まれてから ずっと八雲町に 住んでいる	安全・安心（災害が少ない、事件がない等）	7
		施設（病院、学校、国、道の出先機関の多さ等）	5
		その他（交通の便、酪農等の産業、歴史・文化等）	18
	いったん転出し 現在は八雲町に 住んでいる	安全・安心（災害が少ない、公害が少ない等）	10
		施設（病院、図書館、スポーツ施設、スーパー等）	7
		その他（交通の便、酪農等の産業、人間関係等）	33
	八雲町以外の 出身	交通の便（函館等へのアクセス、町がコンパクト等）	17
		施設（病院、図書館、スポーツ施設、スーパー等）	17
		その他（人間関係、農業等産業、歴史・文化等）	66
小 計			180
合 計			468

問5. 八雲町は住みやすいまちか

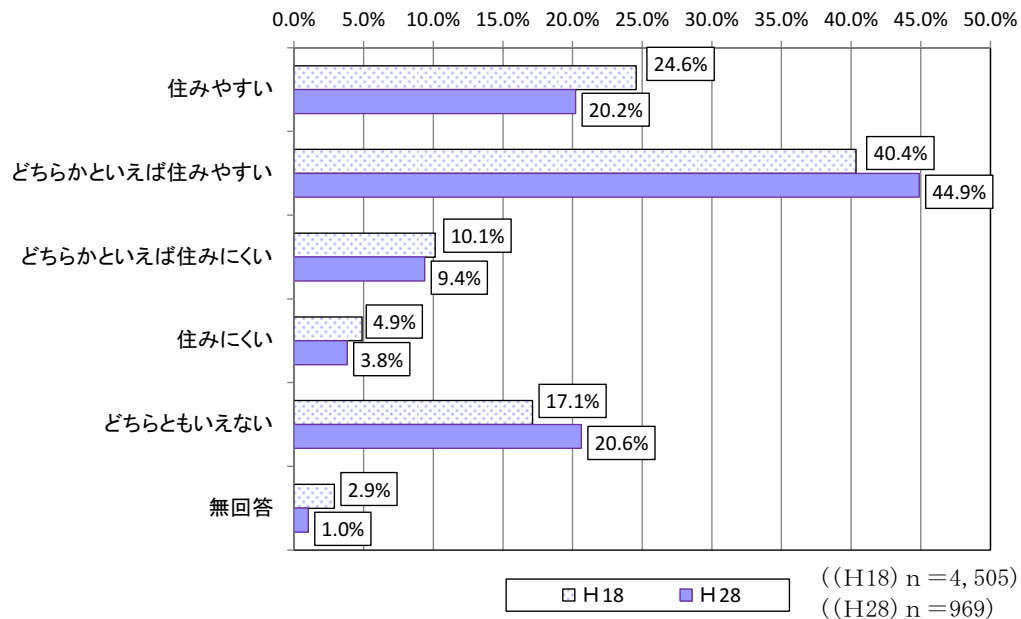
【SA】

<全体>

○「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が65.1%、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせた『住みにくい』が13.2%、「どちらともいえない」が20.6%となっています。10年前と比較すると、『住みにくい』がやや減少し、「どちらともいえない」がやや増加しています。

<地域別>

○“八雲地域”、“落部地域”の『住みやすい』の回答の割合はそれぞれ70%を超えているのに対し、“熊石地域”では51.4%となっています。



		合計	問5 八雲町は住みやすいまちか					無回答
			住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	どちらともいえない	
全体		969	196	435	91	37	200	10
		100.0	20.2	44.9	9.4	3.8	20.6	1.0
性別	男性	399	97	172	40	13	76	1
		100.0	24.3	43.1	10.0	3.3	19.0	0.3
	女性	562	99	260	51	23	120	9
		100.0	17.6	46.3	9.1	4.1	21.4	1.6
年齢	29歳以下	89	15	34	14	7	19	0
		100.0	16.9	38.2	15.7	7.9	21.3	0.0
	30～39歳	120	21	44	18	9	27	1
		100.0	17.5	36.7	15.0	7.5	22.5	0.8
	40～49歳	147	27	65	19	7	28	1
		100.0	18.4	44.2	12.9	4.8	19.0	0.7
	50～59歳	173	30	78	16	6	43	0
		100.0	17.3	45.1	9.2	3.5	24.9	0.0
住まいの地域	60～69歳	210	46	108	14	5	36	1
		100.0	21.9	51.4	6.7	2.4	17.1	0.5
	70～79歳	184	45	86	7	2	37	7
		100.0	24.5	46.7	3.8	1.1	20.1	3.8
	80歳以上	41	12	19	3	0	7	0
	100.0	29.3	46.3	7.3	0.0	17.1	0.0	
八雲地域	八雲地域	639	140	309	49	24	112	5
		100.0	21.9	48.4	7.7	3.8	17.5	0.8
	落部地域	69	18	31	7	0	12	1
	100.0	26.1	44.9	10.1	0.0	17.4	1.4	
	熊石地域	257	38	94	35	12	74	4
	100.0	14.8	36.6	13.6	4.7	28.8	1.6	

問6. 住みよさとは何か

【MA】

<全体>

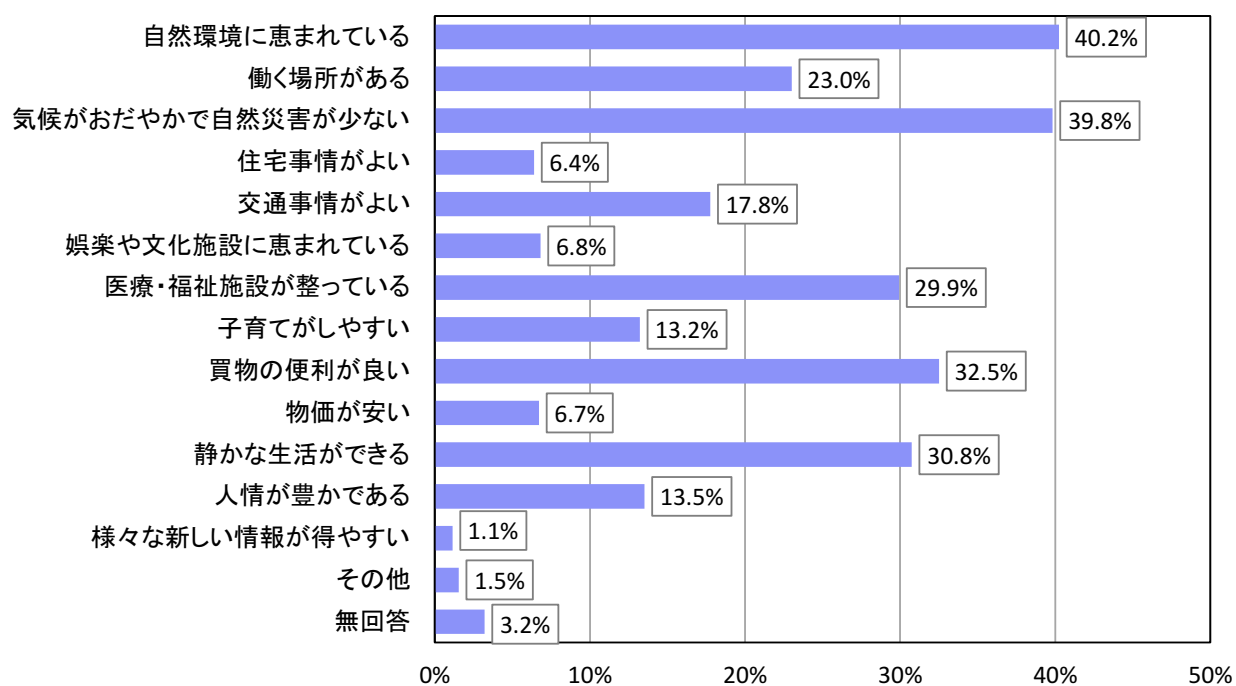
- 「自然環境に恵まれている」が40.2%と最も高く、次いで「気候がおだやかで自然災害が少ない」が39.8%、「買物の便利が良い」が32.5%となっています。

<年齢別>

- 年齢が低いほど、「買物の便利が良い」の回答の割合が高くなる傾向があり、“29歳以下”、“30～39歳”では最も高くなっています。また、“30～39歳”では、「子育てがしやすい」が40.8%と他の年齢層に比べて高くなっています。

<地域別>

- “落部地域”、“熊石地域”では「人情が豊かである」がそれぞれ20%を超えているのに対し、“八雲地域”では8.8%となっています。



(n=969)

		合計	問6 住みよさとは何か									
			自然環境に恵まれている	働く場所がある	気候が快適で自然災害が少ない	住宅事情がよい	交通事情がよい	娯楽や文化施設に恵まれている	医療・福祉施設が整っている	子育てがしやすい	買物の便利が良い	物価が安い
全体		969 100.0	390 40.2	223 23.0	386 39.8	62 6.4	172 17.8	66 6.8	290 29.9	128 13.2	315 32.5	65 6.7
性別	男性	399 100.0	171 42.9	99 24.8	159 39.8	26 6.5	66 16.5	34 8.5	117 29.3	45 11.3	117 29.3	29 7.3
	女性	562 100.0	217 38.6	121 21.5	226 40.2	35 6.2	105 18.7	30 5.3	171 30.4	83 14.8	195 34.7	36 6.4
年齢	29歳以下	89 100.0	23 25.8	26 29.2	14 15.7	9 10.1	23 25.8	16 18.0	27 30.3	17 19.1	43 48.3	5 5.6
	30～39歳	120 100.0	39 32.5	35 29.2	25 20.8	13 10.8	17 14.2	8 6.7	34 28.3	49 40.8	54 45.0	10 8.3
	40～49歳	147 100.0	43 29.3	57 38.8	41 27.9	14 9.5	29 19.7	14 9.5	49 33.3	30 20.4	48 32.7	9 6.1
	50～59歳	173 100.0	52 30.1	51 29.5	71 41.0	16 9.2	27 15.6	11 6.4	48 27.7	18 10.4	60 34.7	15 8.7
	60～69歳	210 100.0	107 51.0	32 15.2	109 51.9	4 1.9	42 20.0	9 4.3	56 26.7	11 5.2	59 28.1	13 6.2
	70～79歳	184 100.0	103 56.0	19 10.3	104 56.5	6 3.3	30 16.3	5 2.7	58 31.5	3 1.6	40 21.7	10 5.4
	80歳以上	41 100.0	22 53.7	1 2.4	22 53.7	0 0.0	3 7.3	1 2.4	16 39.0	0 0.0	8 19.5	3 7.3
	住まいの地域	八雲地域	639 100.0	259 40.5	132 20.7	251 39.3	49 7.7	113 17.7	49 7.7	204 31.9	95 14.9	227 35.5
落部地域		69 100.0	29 42.0	11 15.9	32 46.4	1 1.4	14 20.3	3 4.3	22 31.9	10 14.5	19 27.5	3 4.3
熊石地域		257 100.0	101 39.3	78 30.4	103 40.1	12 4.7	44 17.1	13 5.1	62 24.1	23 8.9	67 26.1	16 6.2

		合計	問6 住みよさとは何か				
			静かな生活ができる	人情が豊かである	様々な新しい情報が得やすい	その他	無回答
全体		969 100.0	298 30.8	131 13.5	11 1.1	15 1.5	31 3.2
性別	男性	399 100.0	133 33.3	56 14.0	5 1.3	6 1.5	10 2.5
	女性	562 100.0	162 28.8	73 13.0	6 1.1	9 1.6	21 3.7
年齢	29歳以下	89 100.0	18 20.2	9 10.1	1 1.1	1 1.1	2 2.2
	30～39歳	120 100.0	25 20.8	13 10.8	3 2.5	2 1.7	4 3.3
	40～49歳	147 100.0	39 26.5	15 10.2	2 1.4	1 0.7	5 3.4
	50～59歳	173 100.0	52 30.1	25 14.5	3 1.7	3 1.7	4 2.3
	60～69歳	210 100.0	75 35.7	26 12.4	0 0.0	3 1.4	8 3.8
	70～79歳	184 100.0	71 38.6	33 17.9	2 1.1	3 1.6	5 2.7
	80歳以上	41 100.0	18 43.9	8 19.5	0 0.0	2 4.9	3 7.3
	住まいの地域	八雲地域	639 100.0	197 30.8	56 8.8	6 0.9	10 1.6
落部地域		69 100.0	19 27.5	16 23.2	2 2.9	1 1.4	0 0.0
熊石地域		257 100.0	82 31.9	57 22.2	3 1.2	4 1.6	12 4.7

問7. 八雲町に住み続けたいか

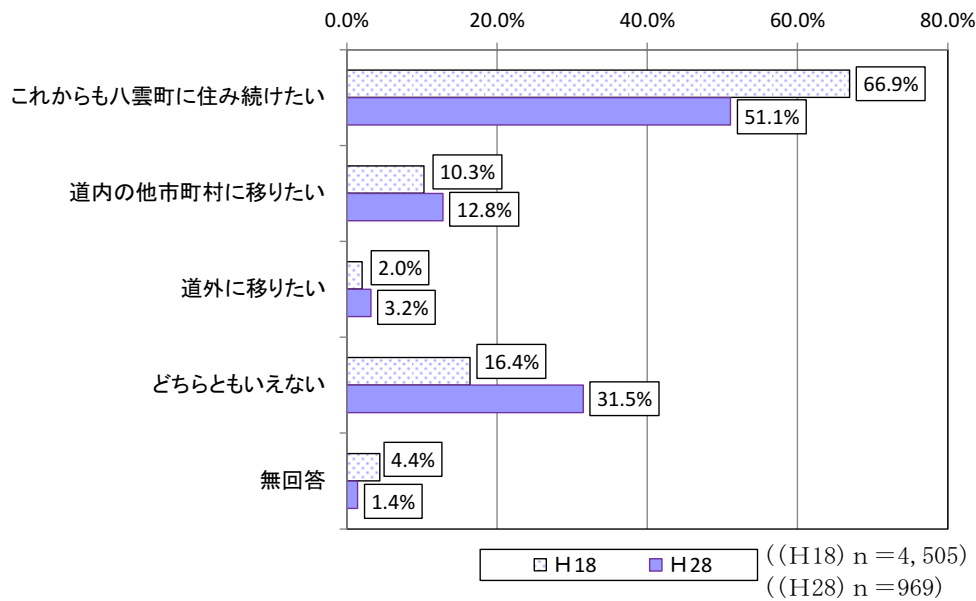
【SA】

<全体>

○「これからも八雲町に住み続けたい」が 51.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 31.5%、「道内の他市町村に移りたい」が 12.8%となっています。10年前の結果と比較すると、「これからも八雲町に住み続けたい」が大きく減少し、「どちらともいえない」が大きく増加しています。

<年齢別>

○年齢が高くなるほど「これからも八雲町に住み続けたい」の回答の割合が高く、年齢が低くなるほど「道内の他市町村に移りたい」の回答の割合が高くなっています。



		合計	問7 八雲町に住み続けたいか				
			これからも八雲町に住み続けたい	道内の他市町村に移りたい	道外に移りたい	どちらともいえない	無回答
全体		969	49.5	12.4	3.1	30.5	1.4
性別	男性	399	21.9	4.5	1.3	11.3	2.3
	女性	562	27.3	7.7	1.7	19.0	0.9
年齢	29歳以下	89	1.5	2.5	0.9	3.9	1.1
	30～39歳	120	4.3	2.8	0.3	4.6	0.0
	40～49歳	147	5.8	2.8	0.9	5.2	0.0
	50～59歳	173	8.3	1.4	0.5	7.0	0.6
	60～69歳	210	12.6	1.7	0.4	6.0	0.3
	70～79歳	184	13.3	1.0	0.1	3.1	0.9
	80歳以上	41	3.6	0.0	0.0	5.0	0.0
	住まいの地域	639	3.3	0.8	0.2	1.8	0.1
	八雲地域	100.0	52.1	13.5	3.9	28.8	1.7
	落部地域	69	4.0	0.6	0.0	2.2	1.4
	熊石地域	257	1.2	0.3	0.6	9.7	0.2
	熊石地域	100.0	47.1	12.1	2.3	37.7	0.8

問7-1. 住みたい理由(八雲町に住みたい方限定)

【MA】

<全体>

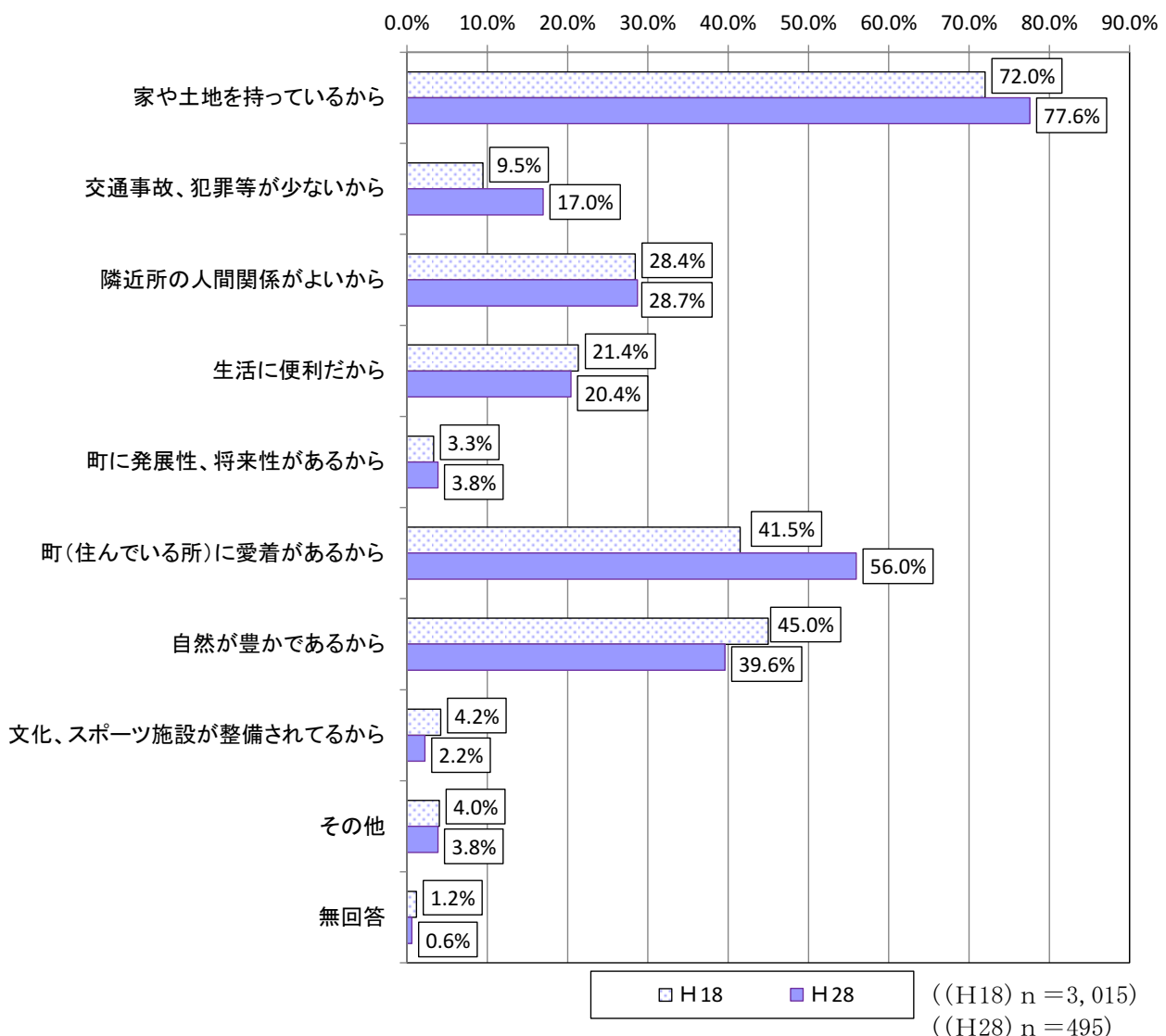
○「家や土地を持っているから」が77.6%と最も高く、次いで「町（住んでいる所）に愛着があるから」が56.0%、「自然が豊かであるから」が39.6%となっています。10年前の結果と比較すると、「町（住んでいる所）に愛着があるから」が大きく増加しています。

<年齢別>

○「家や土地を持っているから」が各年齢層で最も高くなっている中で、“29歳以下”では26.7%と低くなっています。また、年齢が高くなるほど「隣近所の人間関係がよいから」の回答の割合が高くなっており、“29歳以下”の13.3%に対し、“80歳以上”では52.8%となっています。

<地域別>

○“八雲地域”では「隣近所の人間関係がよいから」が22.2%となっているのに対し、“落部地域”は42.5%、“熊石地域”は42.1%と高くなっています。一方で、“八雲地域”では「生活に便利だから」の回答の割合が他の地域と比べて高くなっています。



		合計	問7-1 住み続けたい理由									
			家や土地を持って いるから	交通事 故、犯罪 等が少な いから	隣近所の 人間関係 がよいか ら	生活に便 利だから	町に発展 性、将来 性がある から	町（住ん でいる 所）に愛 着がある から	自然が豊 かである から	文化、ス ポーツ施 設が整備 されてる から	その他	無回答
全体		495 100.0	384 77.6	84 17.0	142 28.7	101 20.4	19 3.8	277 56.0	196 39.6	11 2.2	19 3.8	3 0.6
性別	男性	219 100.0	173 79.0	34 15.5	57 26.0	50 22.8	14 6.4	135 61.6	93 42.5	7 3.2	5 2.3	0 0.0
	女性	273 100.0	208 76.2	50 18.3	85 31.1	50 18.3	5 1.8	141 51.6	101 37.0	4 1.5	14 5.1	3 1.1
年齢	29歳以下	15 100.0	4 26.7	1 6.7	2 13.3	5 33.3	1 6.7	8 53.3	5 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30～39歳	43 100.0	32 74.4	4 9.3	7 16.3	8 18.6	1 2.3	22 51.2	12 27.9	1 2.3	3 7.0	0 0.0
	40～49歳	58 100.0	36 62.1	6 10.3	10 17.2	13 22.4	4 6.9	33 56.9	17 29.3	3 5.2	5 8.6	0 0.0
	50～59歳	83 100.0	60 72.3	12 14.5	16 19.3	20 24.1	5 6.0	47 56.6	37 44.6	1 1.2	6 7.2	1 1.2
	60～69歳	126 100.0	107 84.9	30 23.8	32 25.4	28 22.2	5 4.0	68 54.0	58 46.0	2 1.6	4 3.2	0 0.0
	70～79歳	133 100.0	113 85.0	25 18.8	56 42.1	20 15.0	0 0.0	79 59.4	58 43.6	4 3.0	0 0.0	1 0.8
	80歳以上	36 100.0	31 86.1	6 16.7	19 52.8	7 19.4	3 8.3	20 55.6	9 25.0	0 0.0	1 2.8	1 2.8
住 ま い の 地 域	八雲地域	333 100.0	245 73.6	46 13.8	74 22.2	95 28.5	14 4.2	180 54.1	138 41.4	11 3.3	13 3.9	3 0.9
	落部地域	40 100.0	36 90.0	4 10.0	17 42.5	2 5.0	4 10.0	21 52.5	10 25.0	0 0.0	1 2.5	0 0.0
	熊石地域	121 100.0	102 84.3	34 28.1	51 42.1	4 3.3	1 0.8	76 62.8	48 39.7	0 0.0	5 4.1	0 0.0

問7-2. 転居したい理由(道内の他市町村に移りたい、道外に移りたい方限定)

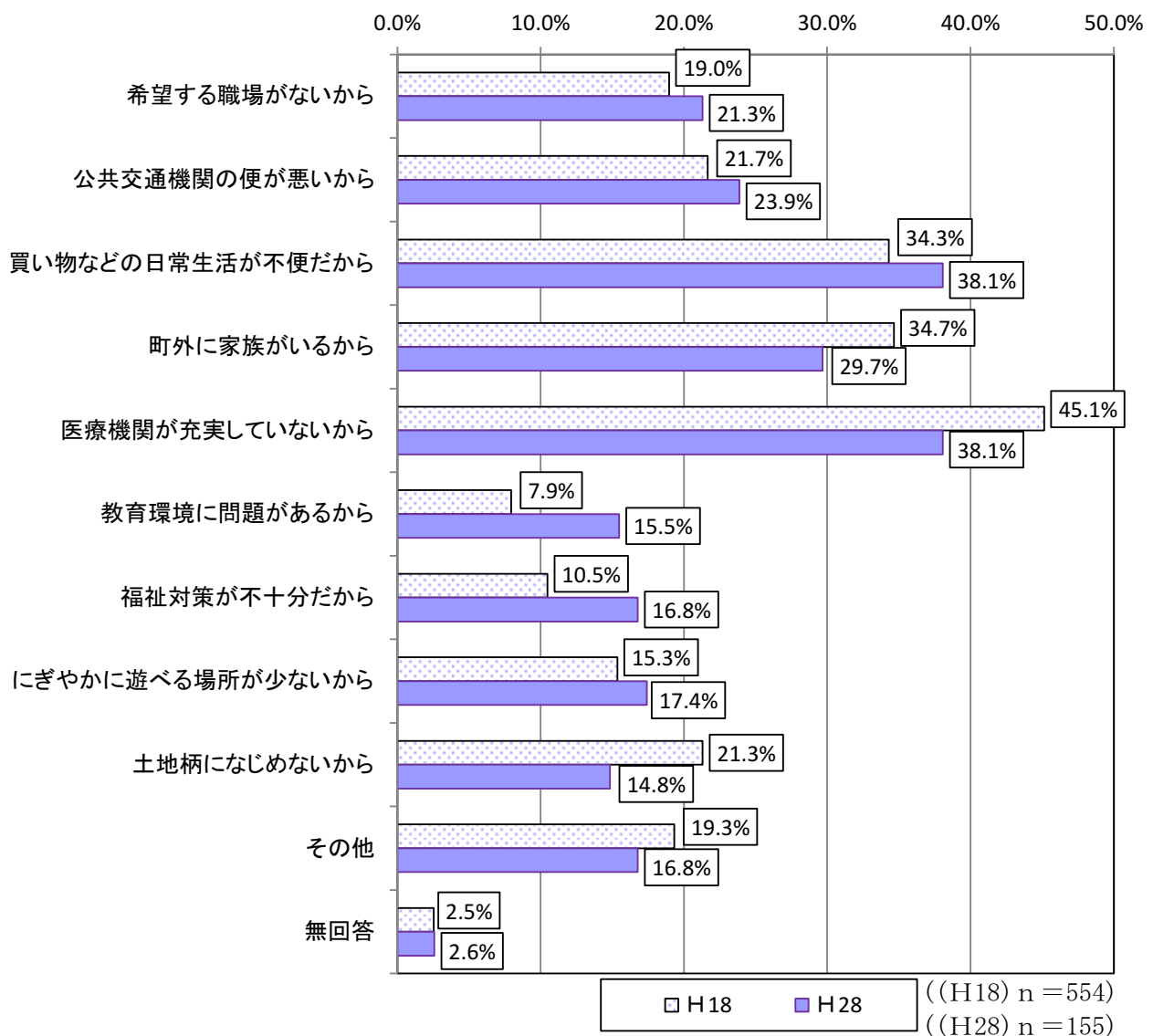
【MA】

<全体>

○「買い物などの日常生活が不便だから」「医療機関が充実していないから」がそれぞれ38.1%と最も高く、次いで「町外に家族がいるから」が29.7%となっています。10年前の結果と比較すると、「医療機関が充実していないから」「土地柄になじめないから」が比較的大きく減少している一方で、「教育環境に問題があるから」「福祉対策が不十分だから」が比較的大きく増加しています。

<年齢別>

○“50～59歳”以上の年齢層では「教育環境に問題があるから」の回答がほとんどみられない状況です。



		合計	問7-2 転居したい理由								
			希望する職場がないから	公共交通機関の便が悪いから	買い物などの日常生活が不便だから	町外に家族がいるから	医療機関が充実していないから	教育環境に問題があるから	福祉対策が不十分だから	にぎやかな遊び場が少ないから	土地柄になじめないから
全体		155 100.0	33 21.3	37 23.9	59 38.1	46 29.7	59 38.1	24 15.5	26 16.8	27 17.4	23 14.8
性別	男性	58 100.0	11 19.0	13 22.4	20 34.5	15 25.9	20 34.5	8 13.8	7 12.1	12 20.7	10 17.2
	女性	94 100.0	21 22.3	24 25.5	38 40.4	31 33.0	39 41.5	16 17.0	18 19.1	15 16.0	12 12.8
年齢	29歳以下	34 100.0	8 23.5	9 26.5	16 47.1	10 29.4	6 17.6	6 17.6	4 11.8	12 35.3	7 20.6
	30～39歳	31 100.0	6 19.4	8 25.8	14 45.2	5 16.1	13 41.9	9 29.0	6 19.4	5 16.1	5 16.1
	40～49歳	37 100.0	13 35.1	7 18.9	9 24.3	10 27.0	14 37.8	8 21.6	6 16.2	5 13.5	3 8.1
	50～59歳	19 100.0	3 15.8	5 26.3	7 36.8	8 42.1	10 52.6	0 0.0	2 10.5	1 5.3	4 21.1
	60～69歳	21 100.0	1 4.8	7 33.3	7 33.3	8 38.1	11 52.4	1 4.8	5 23.8	2 9.5	1 4.8
	70～79歳	11 100.0	1 9.1	1 9.1	5 45.5	5 45.5	5 45.5	0 0.0	3 27.3	2 18.2	2 18.2
	80歳以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
住まいの地域	八雲地域	111 100.0	19 17.1	18 16.2	38 34.2	31 27.9	43 38.7	17 15.3	16 14.4	24 21.6	20 18.0
	落部地域	6 100.0	2 33.3	3 50.0	3 50.0	2 33.3	3 50.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0
	熊石地域	37 100.0	11 29.7	16 43.2	17 45.9	13 35.1	13 35.1	7 18.9	8 21.6	1 2.7	2 5.4

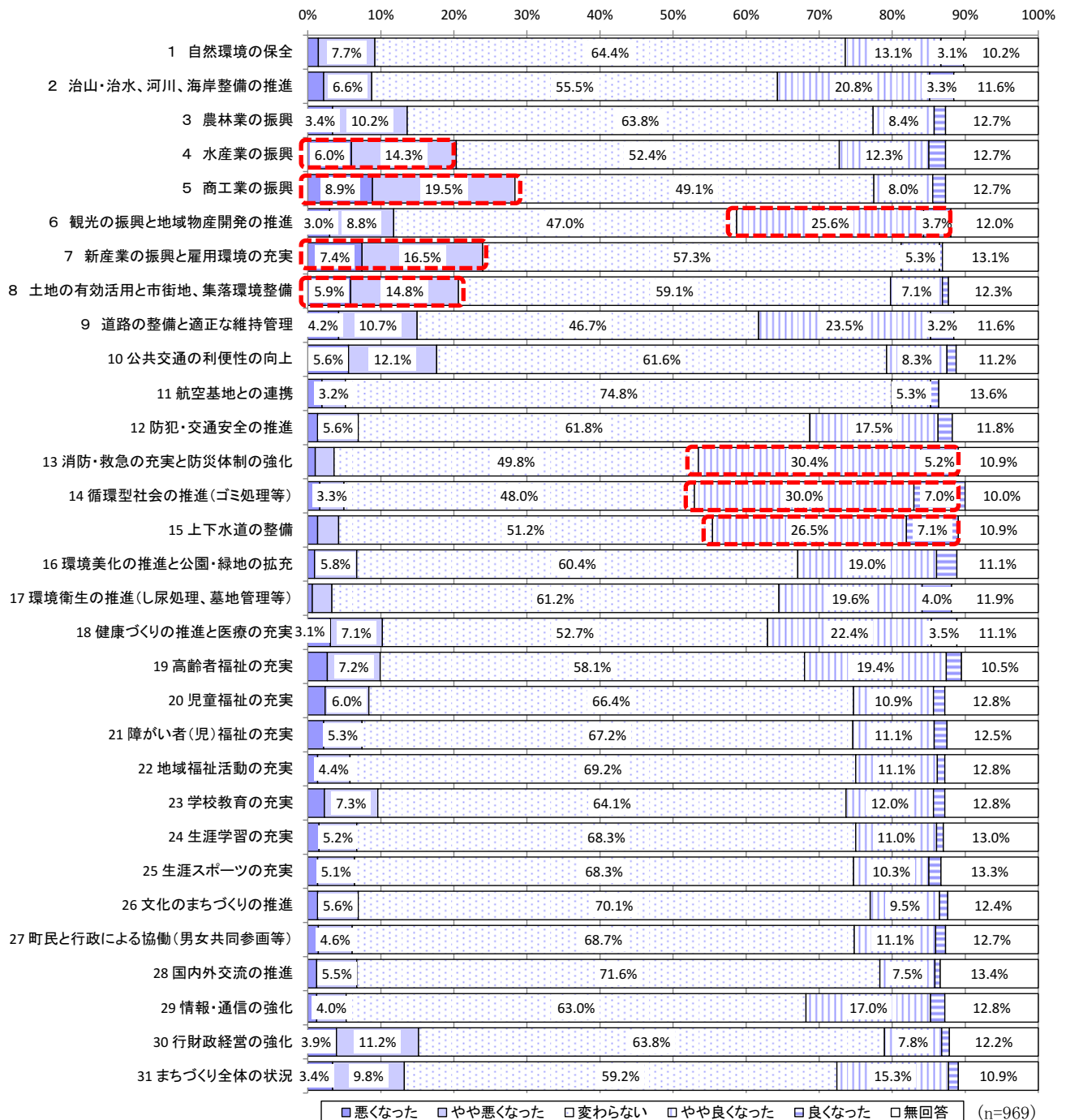
		合計	問7-2 転居したい理由	
			その他	無回答
全体		155 100.0	26 16.8	4 2.6
性別	男性	58 100.0	11 19.0	1 1.7
	女性	94 100.0	15 16.0	2 2.1
年齢	29歳以下	34 100.0	5 14.7	1 2.9
	30～39歳	31 100.0	5 16.1	0 0.0
	40～49歳	37 100.0	9 24.3	1 2.7
	50～59歳	19 100.0	2 10.5	0 0.0
	60～69歳	21 100.0	5 23.8	1 4.8
	70～79歳	11 100.0	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0
住まいの地域	八雲地域	111 100.0	23 20.7	2 1.8
	落部地域	6 100.0	1 16.7	0 0.0
	熊石地域	37 100.0	2 5.4	2 5.4

3. まちづくりの取り組みについて

問8. 平成 20 年度以降のまちづくりの分野ごとの改善度

【SA】

- 全体的に「変わらない」の回答の割合が高く、それぞれの分野で5～7割程度を占めています。
- 「悪くなった」「やや悪くなった」を合わせた『悪くなった』の割合が比較的高い分野としては、“4 水産業の振興”が20.3%、“5 商工業の振興”が28.4%、“7 新産業の振興と雇用環境の充実”が23.9%、“8 土地の有効活用と市街地、集落環境整備”が20.7%、となっています。
- 「良くなった」「やや良くなった」を合わせた『良くなった』の割合が比較的高い分野としては、“6 観光の振興と地域物産開発の推進”が29.3%、“13 消防・救急の充実と防災体制の強化”が35.6%、“14 循環型社会の推進（ゴミ処理等）”が37.0%、“15 上下水道の整備”が33.6%となっています。

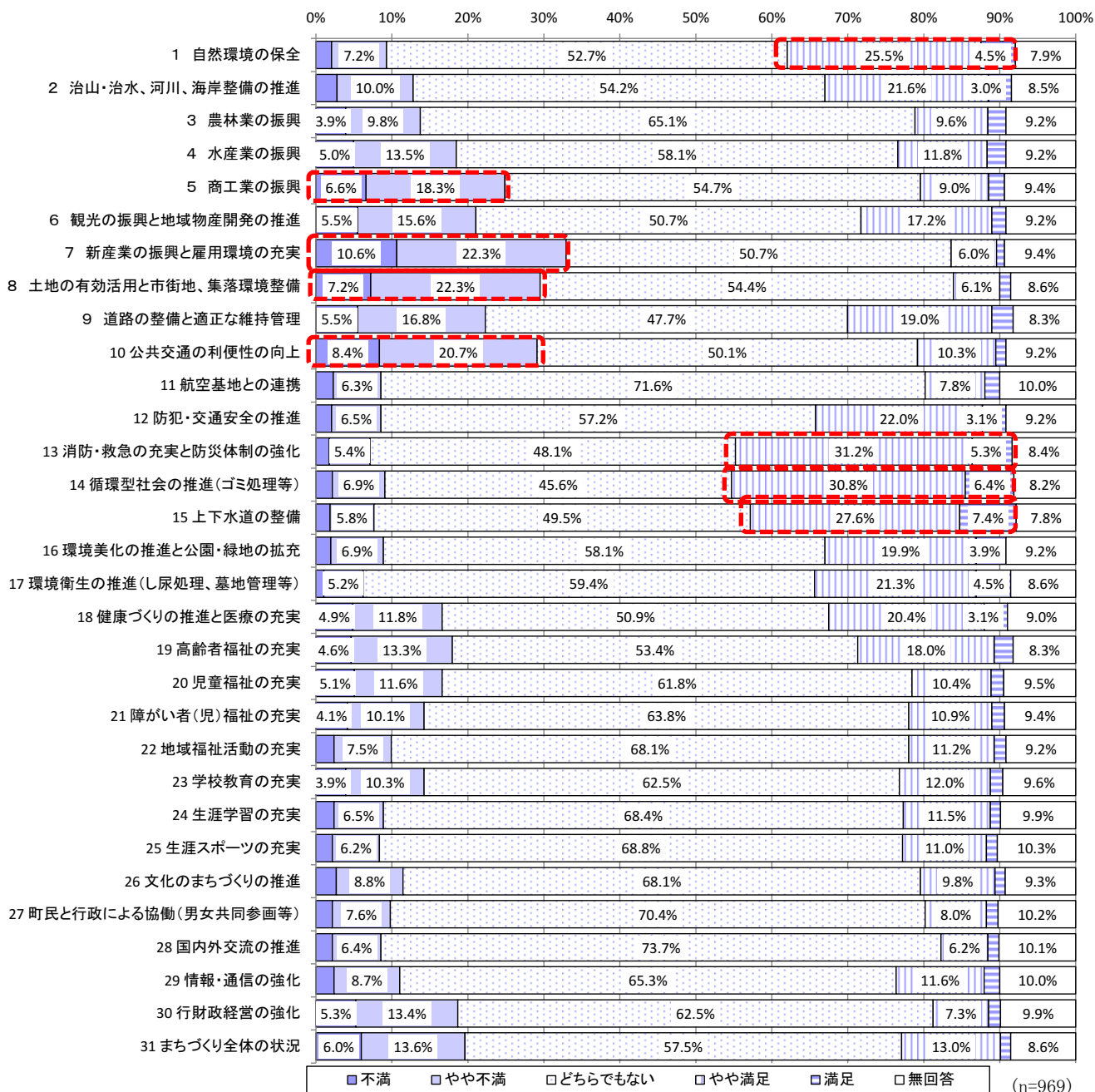


※3.0%以上の値のみ表示

問9. 現在のまちづくりの分野ごとの満足度

【SA】

- 全体的に「どちらでもない」の回答の割合が高く、それぞれの分野で5～7割程度を占めています。
- 「不満」「やや不満」を合わせた『不満』の割合が比較的高い分野としては、“5 商工業の振興”が24.9%、“7 新産業の振興と雇用環境の充実”が32.9%、“8 土地の有効活用と市街地、集落環境整備”が29.5%、“10 公共交通の利便性の向上”が29.1%、となっています。“5”“7”“8”の分野については、問8における改善度が『悪くなった』の割合が高い分野と一致しています。
- 「満足」「やや満足」を合わせた『満足』の割合が比較的高い分野としては、“1 自然環境の保全”が30.0%、“13 消防・救急の充実と防災体制の強化”が36.4%、“14 循環型社会の推進（ゴミ処理等）”が37.2%、“15 上下水道の整備”が35.0%となっています。“13”“14”“15”の分野については、問8における改善度が『良くなった』の割合が高い分野と一致しています。

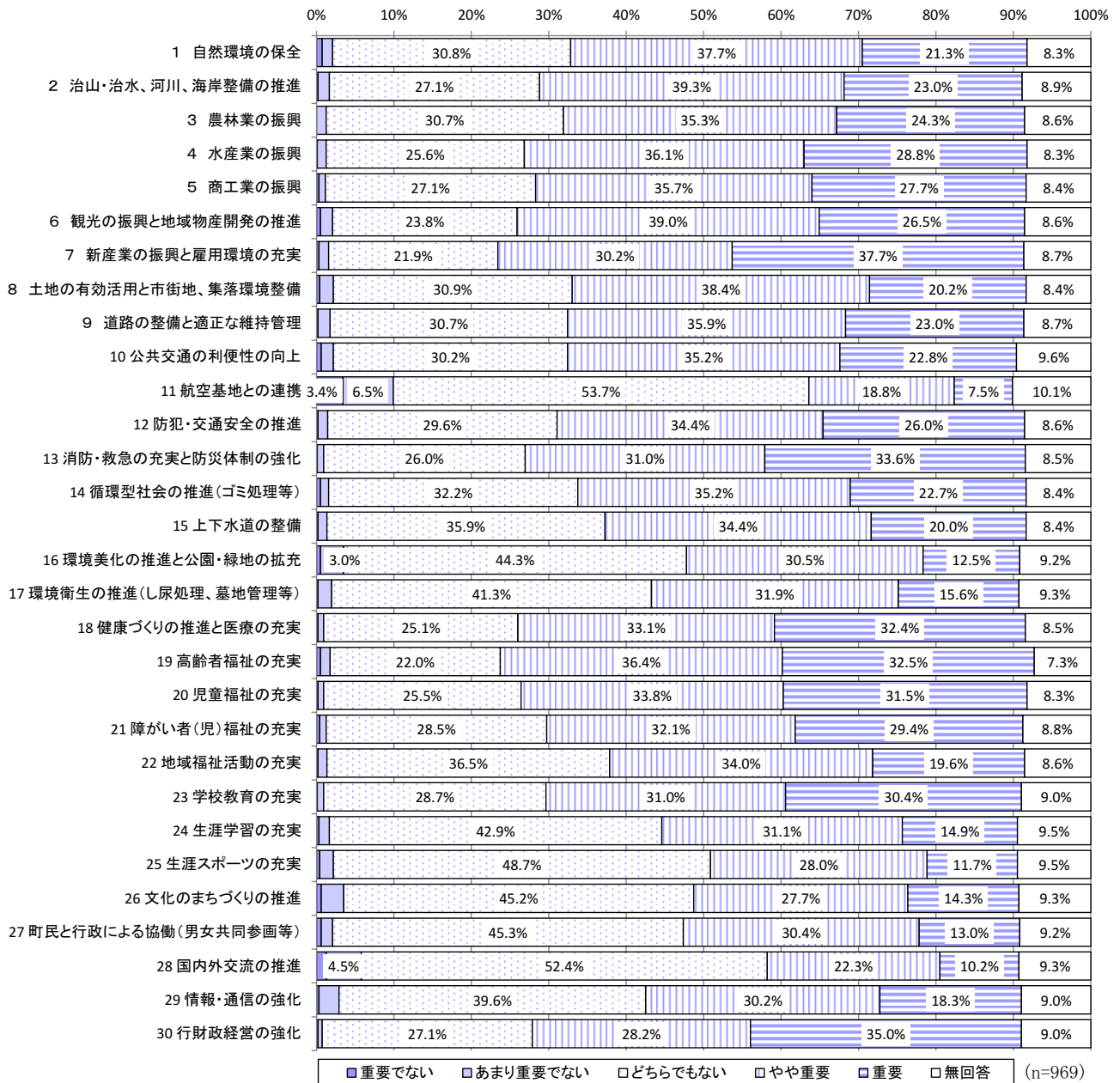


※3.0%以上の値のみ表示

問 10. 今後のまちづくりの分野ごとの重要度

【SA】

- 全体的に「重要」「やや重要」を合わせた『重要』の割合が高く、“11 航空基地との連携”、“28 国内外交流の推進”を除いて、それぞれの分野で4～7割程度を占めています。
- 「重要でない」「あまり重要でない」を合わせた『重要でない』の回答の割合は全体的に低くなっています。



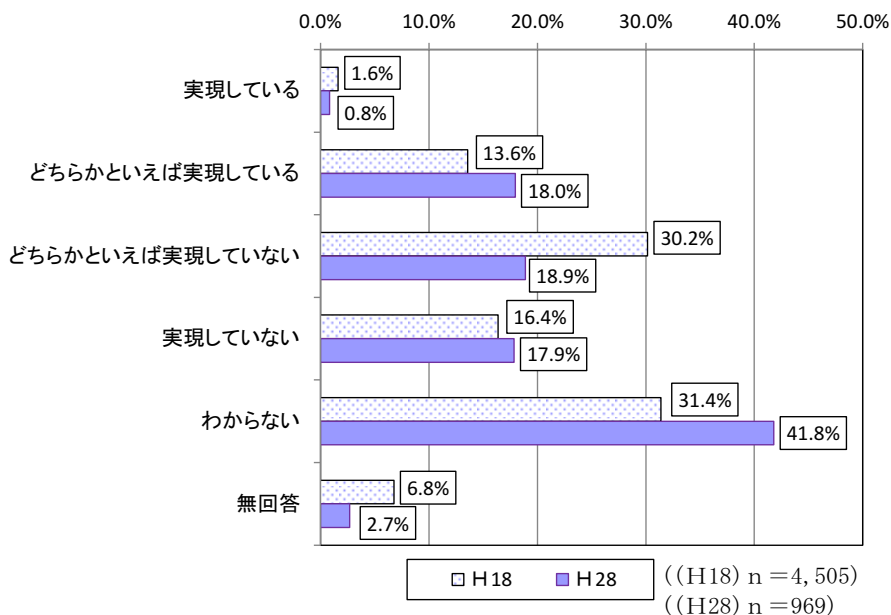
4. 協働のまちづくりについて

問 11. まちづくりへの「町民参加」の実現状況

【SA】

<全体>

- 「実現している」「どちらかといえば実現している」を合わせた『実現している』が18.8%、「実現していない」「どちらかといえば実現していない」を合わせた『実現していない』が36.7%、「わからない」が41.8%となっています。10年前の結果と比較すると、『実現している』『実現していない』『わからない』がそれぞれ増加し、『実現していない』が減少しています。

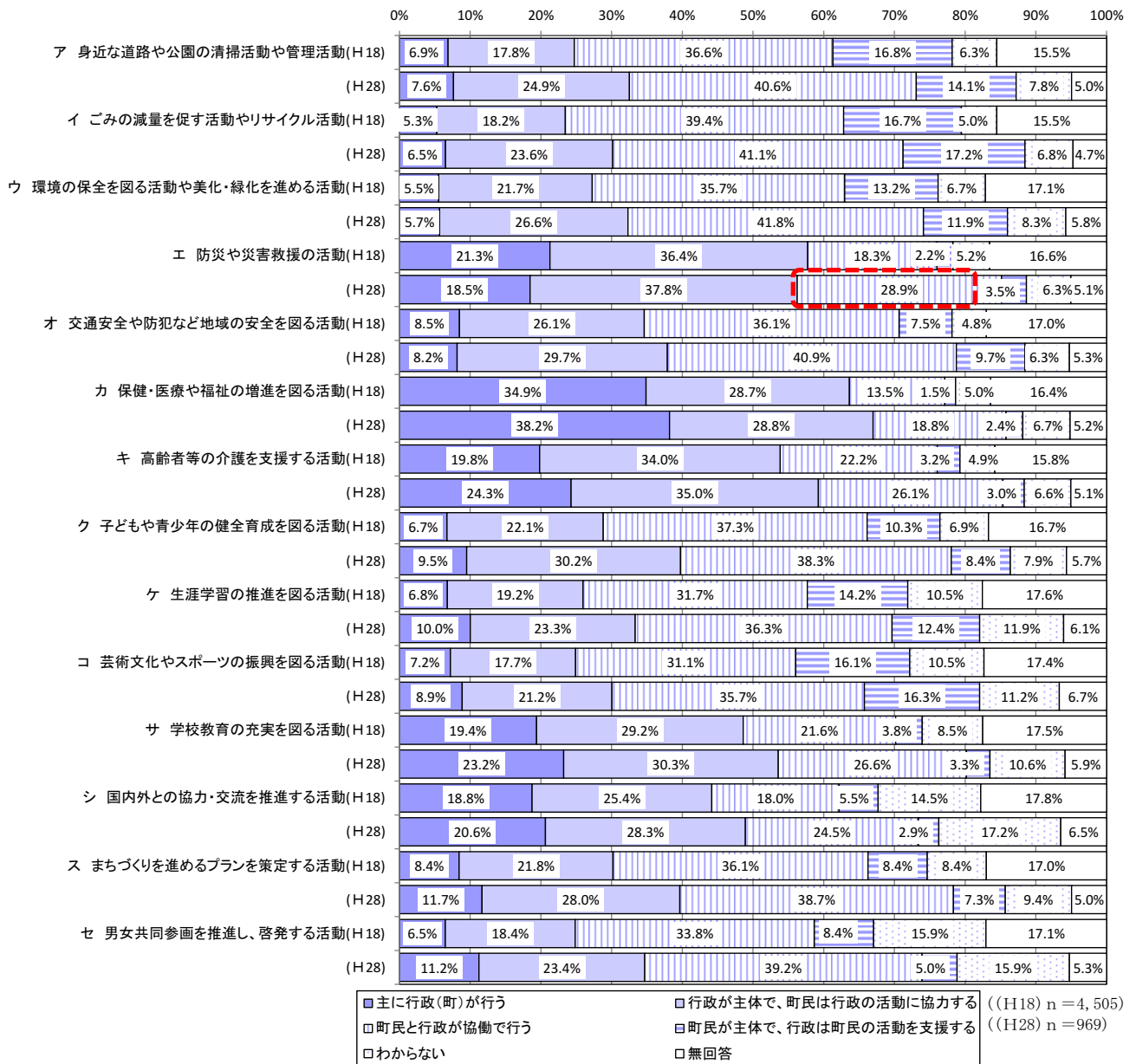


	合計	問11 まちづくりへの「町民参加」の実現状況						
		実現して いる	どちらか といえ ば実 現して いる	どちらか といえ ば実 現して いない	実現して いない	わから ない	無回答	
全体	969 100.0	8 0.8	174 18.0	183 18.9	173 17.9	405 41.8	26 2.7	
性別	男性	399 100.0	2 0.5	80 20.1	90 22.6	69 17.3	149 37.3	9 2.3
	女性	562 100.0	6 1.1	91 16.2	92 16.4	103 18.3	253 45.0	17 3.0
年齢	29歳以下	89 100.0	0 0.0	9 10.1	7 7.9	13 14.6	58 65.2	2 2.2
	30～39歳	120 100.0	0 0.0	14 11.7	29 24.2	24 20.0	52 43.3	1 0.8
	40～49歳	147 100.0	2 1.4	25 17.0	25 17.0	34 23.1	60 40.8	1 0.7
	50～59歳	173 100.0	2 1.2	29 16.8	33 19.1	37 21.4	67 38.7	5 2.9
	60～69歳	210 100.0	2 1.0	48 22.9	45 21.4	34 16.2	78 37.1	3 1.4
	70～79歳	184 100.0	2 1.1	36 19.6	35 19.0	25 13.6	76 41.3	10 5.4
	80歳以上	41 100.0	0 0.0	11 26.8	9 22.0	5 12.2	12 29.3	4 9.8
	住 ま い の 地 域	八雲地域	639 100.0	5 0.8	108 16.9	128 20.0	119 18.6	264 41.3
落部地域		69 100.0	0 0.0	12 17.4	12 17.4	11 15.9	30 43.5	4 5.8
熊石地域		257 100.0	3 1.2	53 20.6	43 16.7	42 16.3	109 42.4	7 2.7

問 12. まちづくりにおける町民と行政(町)の役割分担

【SA】

- “工 防災や災害救援の活動”、“力 保健・医療や福祉の増進を図る活動”、“キ 高齢者等の介護を支援する活動”、“サ 学校教育の充実を図る活動”、“シ 国内外との協力・交流を推進する活動”については、「主に行政(町)が行う」という回答の割合が20~40%程度となっています。
- その他の活動については、「主に行政(町)が行う」の回答の割合は10%程度以下となっており、町民と行政が協力し合うことを、町民が役割として認識している状況がうかがえます。
- 10年前の結果と比較すると、全体的に大きな変化はないものの、“工 防災や災害救援の活動”については「町民と行政が協働で行う」の割合が10ポイント以上増加しています。



問 13. 積極的に参加したい活動

【MA】

<全体>

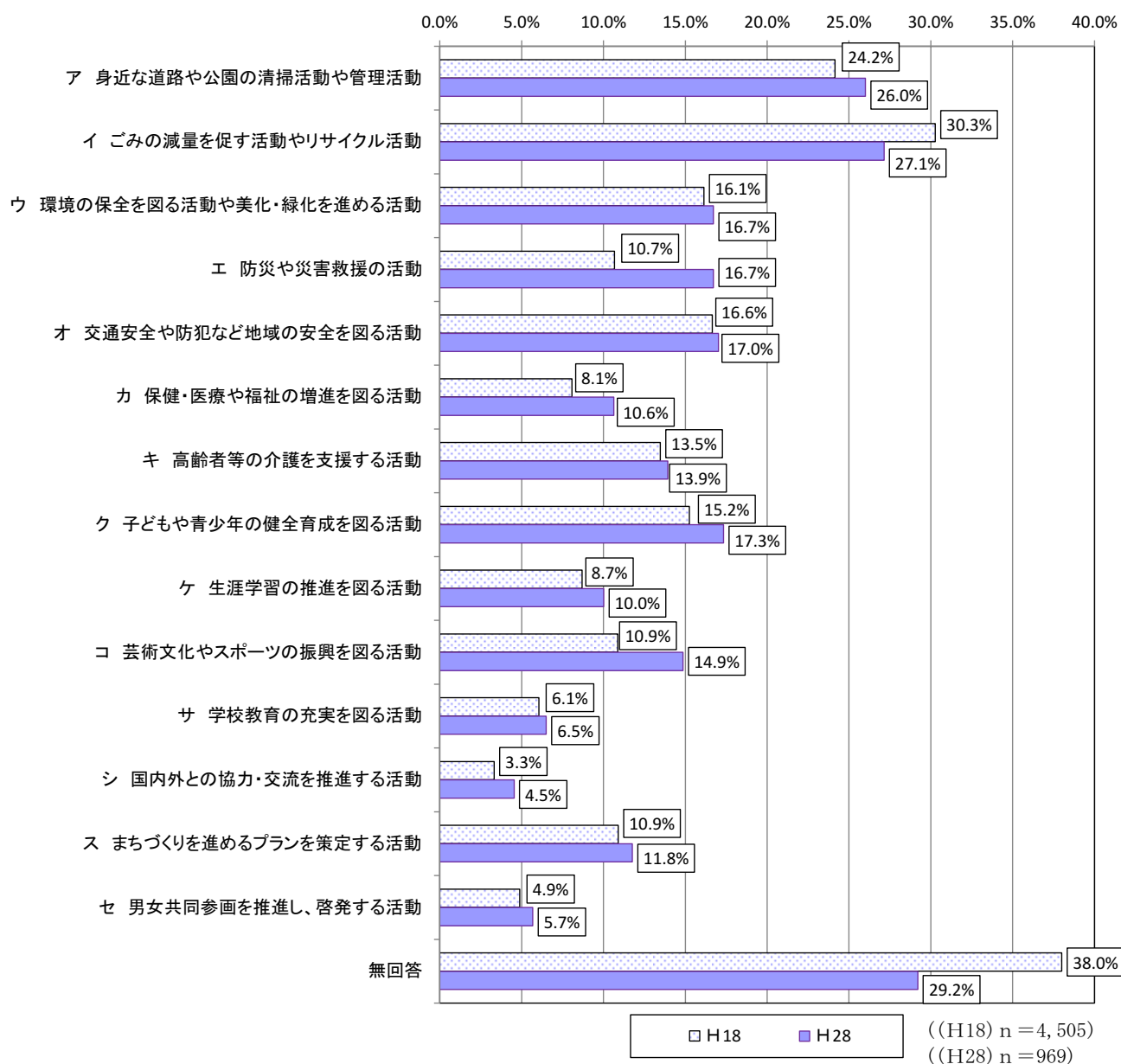
○「イ ごみの減量を促す活動やリサイクル活動」が27.1%と最も高く、次いで「ア 身近な道路や公園の清掃活動や管理活動」が26.0%となっています。10年前の結果と比較すると、全体的に参加希望が高くなっている中で、「エ 防災や災害救援の活動」が比較的大きく増加しています。なお、「イ ごみの減量を促す活動やリサイクル活動」への参加希望のみ減少しています。

<性別>

○“女性”と比較して“男性”では「エ 防災や災害救援の活動」「オ 交通安全や防犯など地域の安全を図る活動」への参加希望が高くなっています。

<年齢別>

○年齢が低いほど、「ク 子どもや青少年の健全育成を図る活動」「コ 芸術文化やスポーツの振興を図る活動」への参加希望が高くなる傾向がみられます。



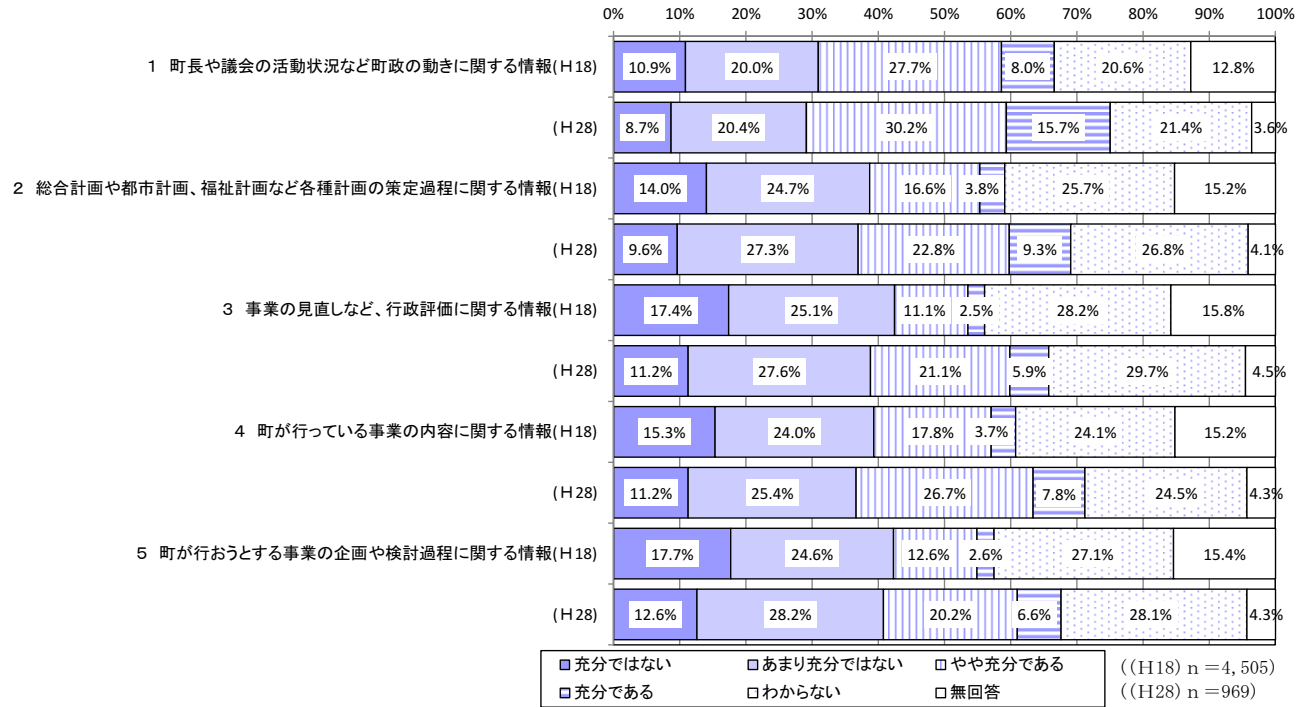
	合計	問13 積極的に参加したい活動										
		ア 身近な道路や公園の清掃活動や管理活動	イ ごみの減量を促す活動やリサイクル活動	ウ 環境の保全を図る活動や美化・緑化を進める活動	エ 防災や災害救援の活動	オ 交通安全や防犯など地域の安全を図る活動	カ 保健・医療や福祉の増進を図る活動	キ 高齢者等の介護を支援する活動	ク もや青少年の健全育成を図る活動	ケ 生涯学習の推進を図る活動	コ 芸術文化やスポーツの振興を図る活動	
全体	969 100.0	252 26.0	263 27.1	162 16.7	162 16.7	165 17.0	103 10.6	135 13.9	168 17.3	97 10.0	144 14.9	
性別	男性	399 100.0	124 31.1	101 25.3	81 20.3	100 25.1	96 24.1	39 9.8	45 11.3	65 16.3	37 9.3	75 18.8
	女性	562 100.0	127 22.6	160 28.5	81 14.4	62 11.0	68 12.1	62 11.0	89 15.8	102 18.1	58 10.3	67 11.9
年齢	29歳以下	89 100.0	13 14.6	12 13.5	7 7.9	14 15.7	9 10.1	9 10.1	6 6.7	18 20.2	8 9.0	20 22.5
	30～39歳	120 100.0	24 20.0	24 20.0	14 11.7	20 16.7	14 11.7	13 10.8	12 10.0	42 35.0	1 0.8	20 16.7
	40～49歳	147 100.0	30 20.4	41 27.9	17 11.6	30 20.4	24 16.3	16 10.9	14 9.5	33 22.4	10 6.8	21 14.3
	50～59歳	173 100.0	50 28.9	47 27.2	36 20.8	31 17.9	22 12.7	14 8.1	19 11.0	29 16.8	19 11.0	25 14.5
	60～69歳	210 100.0	69 32.9	77 36.7	48 22.9	39 18.6	55 26.2	22 10.5	45 21.4	25 11.9	28 13.3	33 15.7
	70～79歳	184 100.0	58 31.5	54 29.3	35 19.0	24 13.0	37 20.1	21 11.4	33 17.9	18 9.8	26 14.1	22 12.0
	80歳以上	41 100.0	7 17.1	7 17.1	5 12.2	4 9.8	4 9.8	6 14.6	6 14.6	3 7.3	4 9.8	2 4.9
	住まいの地域	八雲地域	639 100.0	157 24.6	171 26.8	111 17.4	104 16.3	90 14.1	80 12.5	88 13.8	122 19.1	66 10.3
落部地域		69 100.0	15 21.7	15 21.7	9 13.0	10 14.5	9 13.0	6 8.7	7 10.1	8 11.6	5 7.2	10 14.5
熊石地域		257 100.0	79 30.7	76 29.6	42 16.3	48 18.7	66 25.7	16 6.2	40 15.6	38 14.8	25 9.7	30 11.7

	合計	問13 積極的に参加したい活動					無回答
		サ 学校教育の充実を図る活動	シ 国内外との協力・交流を推進する活動	ス まちづくりを進めるプランを策定する活動	セ 男女共同参画を推進し、啓発する活動		
全体	969 100.0	63 6.5	44 4.5	114 11.8	55 5.7	283 29.2	
性別	男性	399 100.0	25 6.3	14 3.5	59 14.8	26 6.5	93 23.3
	女性	562 100.0	38 6.8	30 5.3	53 9.4	29 5.2	188 33.5
年齢	29歳以下	89 100.0	9 10.1	7 7.9	10 11.2	7 7.9	25 28.1
	30～39歳	120 100.0	21 17.5	7 5.8	14 11.7	6 5.0	26 21.7
	40～49歳	147 100.0	12 8.2	7 4.8	21 14.3	5 3.4	37 25.2
	50～59歳	173 100.0	9 5.2	9 5.2	21 12.1	8 4.6	56 32.4
	60～69歳	210 100.0	8 3.8	10 4.8	25 11.9	17 8.1	47 22.4
	70～79歳	184 100.0	4 2.2	4 2.2	16 8.7	10 5.4	68 37.0
	80歳以上	41 100.0	0 0.0	0 0.0	6 14.6	2 4.9	22 53.7
	住まいの地域	八雲地域	639 100.0	40 6.3	31 4.9	81 12.7	31 4.9
落部地域		69 100.0	8 11.6	6 8.7	7 10.1	5 7.2	24 34.8
熊石地域		257 100.0	15 5.8	7 2.7	25 9.7	19 7.4	80 31.1

問 14. 情報提供について

【MA】

○ “1 町長や議会の活動状況など町政の動きに関する情報”を除き、「充分ではない」と「やや充分ではない」を合わせた『充分ではない』が、「充分である」と「やや充分である」を合わせた『充分である』を上回っています。10年前の結果と比較すると、すべての項目で『充分ではない』は減少し『充分である』が増加しています。



		合計	問14 1 町長や議会の活動状況など町政の動きに関する情報					無回答
			充分ではない	あまり充分ではない	やや充分である	充分である	わからない	
全体		969 100.0	84 8.7	198 20.4	293 30.2	152 15.7	207 21.4	35 3.6
性別	男性	399 100.0	38 9.5	96 24.1	131 32.8	74 18.5	54 13.5	6 1.5
	女性	562 100.0	46 8.2	99 17.6	161 28.6	77 13.7	153 27.2	26 4.6
年齢	29歳以下	89 100.0	7 7.9	19 21.3	26 29.2	13 14.6	23 25.8	1 1.1
	30～39歳	120 100.0	10 8.3	26 21.7	29 24.2	23 19.2	32 26.7	0 0.0
	40～49歳	147 100.0	13 8.8	22 15.0	58 39.5	25 17.0	28 19.0	1 0.7
	50～59歳	173 100.0	16 9.2	34 19.7	50 28.9	27 15.6	40 23.1	6 3.5
	60～69歳	210 100.0	22 10.5	49 23.3	79 37.6	24 11.4	28 13.3	8 3.8
	70～79歳	184 100.0	13 7.1	38 20.7	43 23.4	35 19.0	44 23.9	11 6.0
	80歳以上	41 100.0	3 7.3	8 19.5	8 19.5	4 9.8	12 29.3	6 14.6
住まいの地域	八雲地域	639 100.0	57 8.9	135 21.1	197 30.8	105 16.4	130 20.3	15 2.3
	落部地域	69 100.0	4 5.8	9 13.0	22 31.9	10 14.5	20 29.0	4 5.8
	熊石地域	257 100.0	23 8.9	52 20.2	74 28.8	36 14.0	57 22.2	15 5.8

		合計	問14 2 総合計画や都市計画、福祉計画など各種計画の策定過程に関する情報					無回答
			充分ではない	あまり充分ではない	やや充分である	充分である	わからない	
全体		969 100.0	93 9.6	265 27.3	221 22.8	90 9.3	260 26.8	40 4.1
性別	男性	399 100.0	49 12.3	134 33.6	92 23.1	50 12.5	68 17.0	6 1.5
	女性	562 100.0	44 7.8	127 22.6	127 22.6	40 7.1	192 34.2	32 5.7
年齢	29歳以下	89 100.0	9 10.1	30 33.7	14 15.7	10 11.2	25 28.1	1 1.1
	30～39歳	120 100.0	9 7.5	27 22.5	28 23.3	18 15.0	38 31.7	0 0.0
	40～49歳	147 100.0	12 8.2	31 21.1	44 29.9	19 12.9	40 27.2	1 0.7
	50～59歳	173 100.0	17 9.8	54 31.2	34 19.7	13 7.5	48 27.7	7 4.0
	60～69歳	210 100.0	31 14.8	64 30.5	58 27.6	10 4.8	40 19.0	7 3.3
	70～79歳	184 100.0	13 7.1	49 26.6	38 20.7	13 7.1	56 30.4	15 8.2
	80歳以上	41 100.0	2 4.9	7 17.1	4 9.8	7 17.1	13 31.7	8 19.5
住まいの地域	八雲地域	639 100.0	69 10.8	173 27.1	155 24.3	60 9.4	166 26.0	16 2.5
	落部地域	69 100.0	4 5.8	16 23.2	16 23.2	7 10.1	22 31.9	4 5.8
	熊石地域	257 100.0	20 7.8	73 28.4	50 19.5	23 8.9	72 28.0	19 7.4

		合計	問14 3 事業の見直しなど、行政評価に関する情報					無回答
			充分ではない	あまり充分ではない	やや充分である	充分である	わからない	
全体		969 100.0	109 11.2	267 27.6	204 21.1	57 5.9	288 29.7	44 4.5
性別	男性	399 100.0	58 14.5	139 34.8	82 20.6	32 8.0	81 20.3	7 1.8
	女性	562 100.0	49 8.7	126 22.4	121 21.5	25 4.4	207 36.8	34 6.0
年齢	29歳以下	89 100.0	11 12.4	26 29.2	19 21.3	5 5.6	27 30.3	1 1.1
	30～39歳	120 100.0	10 8.3	31 25.8	25 20.8	16 13.3	38 31.7	0 0.0
	40～49歳	147 100.0	16 10.9	33 22.4	45 30.6	13 8.8	39 26.5	1 0.7
	50～59歳	173 100.0	20 11.6	55 31.8	32 18.5	10 5.8	49 28.3	7 4.0
	60～69歳	210 100.0	31 14.8	64 30.5	50 23.8	7 3.3	49 23.3	9 4.3
	70～79歳	184 100.0	17 9.2	50 27.2	29 15.8	4 2.2	69 37.5	15 8.2
	80歳以上	41 100.0	2 4.9	7 17.1	4 9.8	2 4.9	17 41.5	9 22.0
住まいの地域	八雲地域	639 100.0	79 12.4	191 29.9	134 21.0	33 5.2	184 28.8	18 2.8
	落部地域	69 100.0	5 7.2	16 23.2	13 18.8	8 11.6	22 31.9	5 7.2
	熊石地域	257 100.0	23 8.9	59 23.0	57 22.2	16 6.2	82 31.9	20 7.8

		合計	問14 4 町が行っている事業の内容に関する情報					無回答
			充分ではない	あまり充分ではない	やや充分である	充分である	わからない	
全体		969 100.0	109 11.2	246 25.4	259 26.7	76 7.8	237 24.5	42 4.3
性別	男性	399 100.0	53 13.3	121 30.3	114 28.6	42 10.5	63 15.8	6 1.5
	女性	562 100.0	56 10.0	122 21.7	143 25.4	34 6.0	174 31.0	33 5.9
年齢	29歳以下	89 100.0	11 12.4	21 23.6	26 29.2	7 7.9	23 25.8	1 1.1
	30～39歳	120 100.0	12 10.0	17 14.2	42 35.0	17 14.2	32 26.7	0 0.0
	40～49歳	147 100.0	20 13.6	33 22.4	44 29.9	18 12.2	31 21.1	1 0.7
	50～59歳	173 100.0	20 11.6	53 30.6	35 20.2	13 7.5	45 26.0	7 4.0
	60～69歳	210 100.0	30 14.3	68 32.4	55 26.2	12 5.7	38 18.1	7 3.3
	70～79歳	184 100.0	13 7.1	44 23.9	50 27.2	6 3.3	56 30.4	15 8.2
	80歳以上	41 100.0	3 7.3	8 19.5	6 14.6	3 7.3	12 29.3	9 22.0
	住まいの地域	八雲地域	639 100.0	76 11.9	171 26.8	172 26.9	52 8.1	151 23.6
落部地域		69 100.0	6 8.7	12 17.4	18 26.1	7 10.1	22 31.9	4 5.8
熊石地域		257 100.0	27 10.5	61 23.7	68 26.5	17 6.6	64 24.9	20 7.8

		合計	問14 5 町が行おうとする事業の企画や検討過程に関する情報					無回答
			充分ではない	あまり充分ではない	やや充分である	充分である	わからない	
全体		969 100.0	122 12.6	273 28.2	196 20.2	64 6.6	272 28.1	42 4.3
性別	男性	399 100.0	59 14.8	136 34.1	86 21.6	38 9.5	74 18.5	6 1.5
	女性	562 100.0	63 11.2	134 23.8	108 19.2	26 4.6	198 35.2	33 5.9
年齢	29歳以下	89 100.0	11 12.4	27 30.3	19 21.3	6 6.7	25 28.1	1 1.1
	30～39歳	120 100.0	11 9.2	29 24.2	32 26.7	14 11.7	34 28.3	0 0.0
	40～49歳	147 100.0	21 14.3	36 24.5	37 25.2	18 12.2	34 23.1	1 0.7
	50～59歳	173 100.0	24 13.9	51 29.5	30 17.3	10 5.8	51 29.5	7 4.0
	60～69歳	210 100.0	36 17.1	69 32.9	42 20.0	9 4.3	47 22.4	7 3.3
	70～79歳	184 100.0	18 9.8	49 26.6	30 16.3	5 2.7	67 36.4	15 8.2
	80歳以上	41 100.0	1 2.4	10 24.4	5 12.2	2 4.9	14 34.1	9 22.0
	住まいの地域	八雲地域	639 100.0	88 13.8	188 29.4	130 20.3	40 6.3	177 27.7
落部地域		69 100.0	6 8.7	11 15.9	15 21.7	7 10.1	25 36.2	5 7.2
熊石地域		257 100.0	28 10.9	72 28.0	50 19.5	17 6.6	70 27.2	20 7.8

問 15. 行政への町民参加の手法

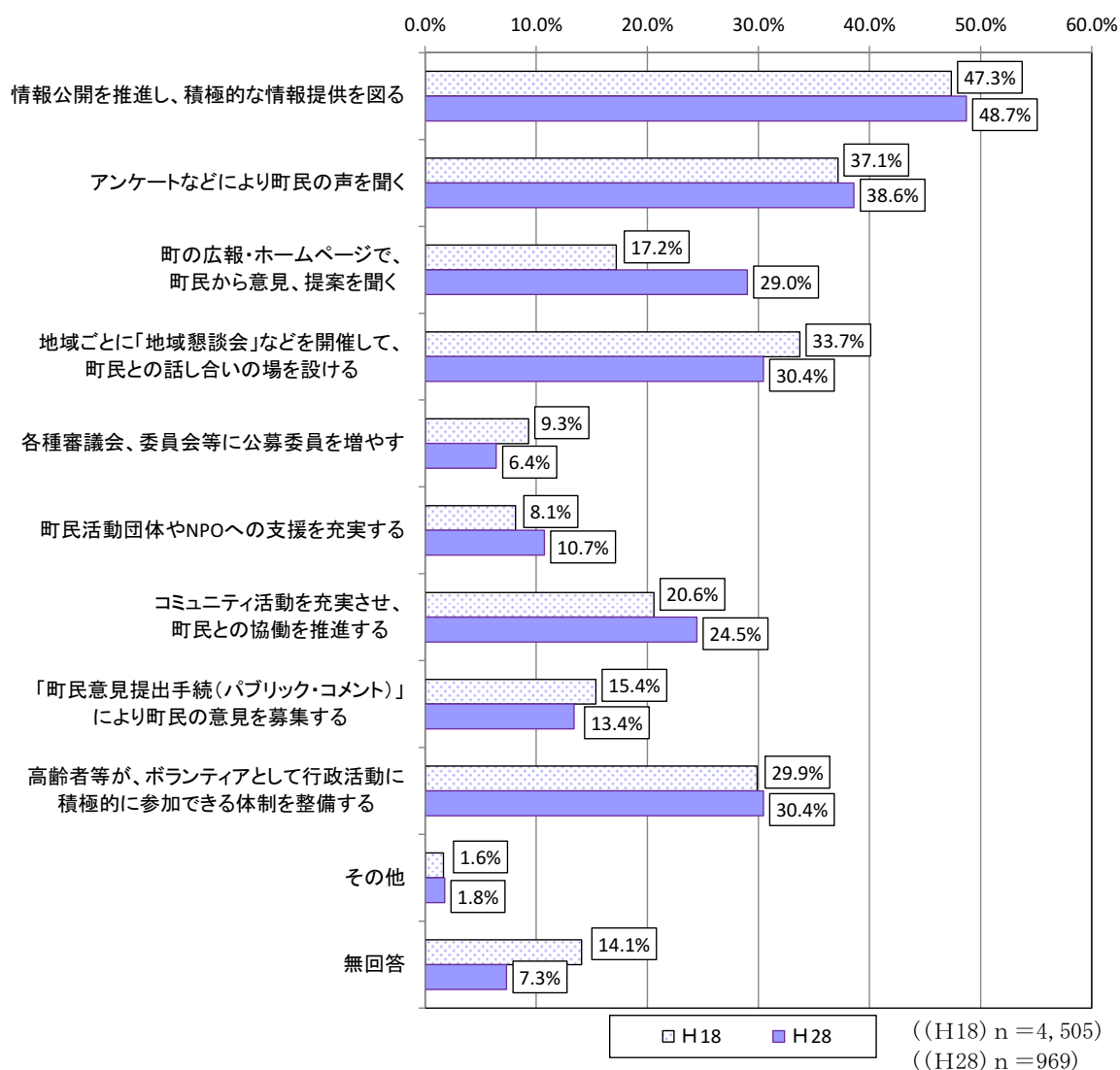
【MA】

<全体>

- 「情報公開を推進し、積極的な情報提供を図る」が48.7%と最も高く、次いで「アンケートなどにより町民の声を聞く」が38.6%となっています。10年前の結果と比較すると、「町の広報・ホームページで、町民から意見、提案を聞く」が17.2%から29.0%と大きく増加しています。

<年齢別>

- 「地域ごとに「地域懇談会」などを開催して、町民との話し合いの場を設ける」については、年齢が高くなるほど回答の割合が高くなる傾向が見られます。



		問15 行政への町民参加の手法											
合計		情報公開を推進し、積極的な情報提供を図る	アンケートなどにより町民の声を聞く	町の広報・ホームページで、町民から意見、提案を聞く	地域ごとに「地域懇談会」などを開催して、町民との話し合いの場を設ける	各種審議会、委員会等に公募委員を増やす	町民活動団体やNPOへの支援を充実する	コミュニティ活動を充実させ、町民との協働を推進する	「町民意見提出手続（パブリック・コメント）」により町民の意見を募集する	高齢者等が、ボランティアとして行政活動に積極的に参加できる体制を整備する	その他	無回答	
全体		969 100.0	472 48.7	374 38.6	281 29.0	295 30.4	62 6.4	104 10.7	237 24.5	130 13.4	295 30.4	17 1.8	71 7.3
性別	男性	399 100.0	212 53.1	160 40.1	122 30.6	143 35.8	36 9.0	45 11.3	104 26.1	54 13.5	110 27.6	7 1.8	15 3.8
	女性	562 100.0	256 45.6	209 37.2	156 27.8	150 26.7	25 4.4	58 10.3	132 23.5	76 13.5	183 32.6	10 1.8	55 9.8
年齢	29歳以下	89 100.0	47 52.8	37 41.6	24 27.0	21 23.6	7 7.9	7 7.9	21 23.6	10 11.2	21 23.6	3 3.4	4 4.5
	30～39歳	120 100.0	61 50.8	50 41.7	46 38.3	32 26.7	4 3.3	9 7.5	33 27.5	18 15.0	32 26.7	4 3.3	8 6.7
	40～49歳	147 100.0	73 49.7	57 38.8	58 39.5	34 23.1	7 4.8	15 10.2	35 23.8	35 23.8	42 28.6	3 2.0	4 2.7
	50～59歳	173 100.0	89 51.4	55 31.8	47 27.2	45 26.0	16 9.2	18 10.4	50 28.9	20 11.6	47 27.2	4 2.3	14 8.1
	60～69歳	210 100.0	112 53.3	83 39.5	58 27.6	75 35.7	11 5.2	25 11.9	46 21.9	26 12.4	76 36.2	2 1.0	9 4.3
	70～79歳	184 100.0	74 40.2	69 37.5	41 22.3	70 38.0	15 8.2	27 14.7	41 22.3	18 9.8	66 35.9	1 0.5	20 10.9
	80歳以上	41 100.0	13 31.7	20 48.8	5 12.2	17 41.5	2 4.9	3 7.3	11 26.8	3 7.3	10 24.4	0 0.0	11 26.8
住まいの地域	八雲地域	639 100.0	317 49.6	237 37.1	195 30.5	172 26.9	41 6.4	82 12.8	162 25.4	92 14.4	202 31.6	13 2.0	38 5.9
	落部地域	69 100.0	37 53.6	32 46.4	22 31.9	26 37.7	3 4.3	3 4.3	17 24.6	9 13.0	15 21.7	1 1.4	5 7.2
	熊石地域	257 100.0	116 45.1	102 39.7	62 24.1	96 37.4	18 7.0	19 7.4	58 22.6	29 11.3	77 30.0	3 1.2	27 10.5

5. 幸福度について

問 16. 現在と理想の幸福度

【SA】

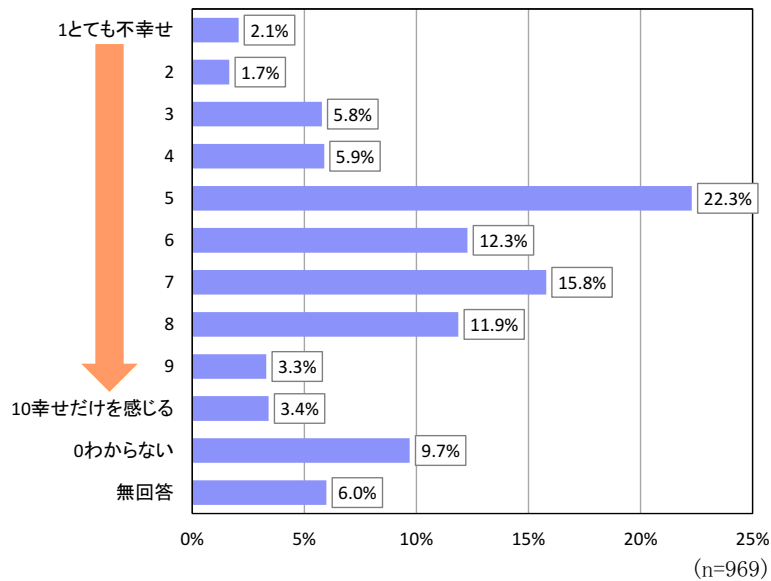
【①現在の幸福度】

<全体>

○「5」が22.3%と最も高く、次いで「7」が15.8%で、全体の平均値は5.91 となっています。

<年齢別>

○“80歳以上”では「10」が14.6%と「5」に次いで高くなっている一方で、他の年齢層では4%以下となっています。年齢が高くなるほど平均値も高くなる傾向があり、4区分の年齢で平均値をみると、“29歳以下”の5.43に対し、“70歳以上”では6.43となっています。



	合計	問16 ①現在の幸福度											10幸せだけを感じる	0わからない	無回答
		1 100%不幸せ	2	3	4	5	6	7	8	9					
全体	969 100.0	20 2.1	16 1.7	56 5.8	57 5.9	216 22.3	119 12.3	153 15.8	115 11.9	32 3.3	33 3.4	94 9.7	58 6.0		
性別	男性	399 100.0	11 2.8	8 2.0	22 5.5	26 6.5	95 23.8	54 13.5	64 16.0	41 10.3	10 2.5	14 3.5	37 9.3	17 4.3	
	女性	562 100.0	9 1.6	8 1.4	33 5.9	31 5.5	121 21.5	65 11.6	87 15.5	74 13.2	22 3.9	19 3.4	55 9.8	38 6.8	
年齢	29歳以下	89 100.0	2 2.2	2 2.2	8 9.0	8 9.0	23 25.8	10 11.2	14 15.7	6 6.7	0 0.0	3 3.4	6 6.7	7 7.9	
	30～39歳	120 100.0	1 0.8	3 2.5	6 5.0	15 12.5	26 21.7	15 12.5	23 19.2	11 9.2	5 4.2	4 3.3	10 8.3	1 0.8	
	40～49歳	147 100.0	4 2.7	4 2.7	12 8.2	13 8.8	28 19.0	23 15.6	21 14.3	19 12.9	4 2.7	2 1.4	12 8.2	5 3.4	
	50～59歳	173 100.0	4 2.3	1 0.6	12 6.9	7 4.0	33 19.1	29 16.8	30 17.3	23 13.3	3 1.7	6 3.5	16 9.2	9 5.2	
	60～69歳	210 100.0	4 1.9	3 1.4	9 4.3	9 4.3	53 25.2	22 10.5	38 18.1	24 11.4	11 5.2	5 2.4	25 11.9	7 3.3	
	70～79歳	184 100.0	3 1.6	2 1.1	9 4.9	5 2.7	46 25.0	16 8.7	24 13.0	27 14.7	7 3.8	7 3.8	18 9.8	20 10.9	
	80歳以上	41 100.0	2 4.9	1 2.4	0 0.0	0 0.0	7 17.1	4 9.8	2 4.9	5 12.2	2 4.9	6 14.6	5 12.2	7 17.1	
	住まいの地域	八雲地域	639 100.0	14 2.2	11 1.7	39 6.1	38 5.9	138 21.6	86 13.5	107 16.7	77 12.1	20 3.1	22 3.4	52 8.1	35 5.5
落部地域		69 100.0	1 1.4	0 0.0	5 7.2	5 7.2	15 21.7	6 8.7	10 14.5	9 13.0	6 8.7	3 4.3	5 7.2	4 5.8	
熊石地域		257 100.0	5 1.9	5 1.9	12 4.7	14 5.4	63 24.5	27 10.5	35 13.6	29 11.3	6 2.3	8 3.1	35 13.6	18 7.0	

<幸福度の点数化>

*幸福度の点数化は、「1を1点」～「10を10点」として、「0」「無回答」を除いた人数で平均値を算出

全体	29歳以下	30～49歳	50～69歳	70歳以上
5.91	5.43	5.75	6.03	6.43

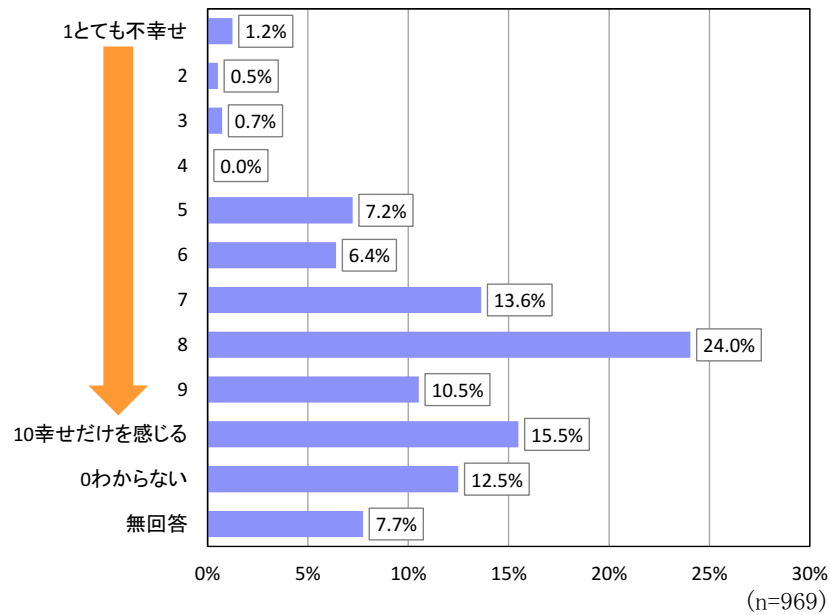
【②理想の幸福度】

<全体>

○「8」が24.0%と最も高く、次いで「10」が15.5%で、全体の平均値は7.74 となっています。

<年齢別>

○“30～39歳”では「10」が21.7%と、他の年齢層と比較して高くなっています。4区分の年齢で平均値をみると、“30～49歳”が7.99 と最も高くなっています。



	合計	問16 ②理想の幸福度										10幸せだけを感じる	0わからない	無回答	
		1とても不幸せ	2	3	4	5	6	7	8	9					
全体	969	1.2	0.5	0.7	0.0	7.2	6.4	13.6	24.0	10.5	15.5	12.5	7.7		
性別	男性	399	1.5	0.5	0.8	0.0	7.5	7.3	13.0	26.1	10.5	14.8	13.5	4.5	
	女性	562	1.1	0.4	0.7	0.0	7.1	5.9	14.2	22.8	10.7	16.0	11.6	9.6	
年齢	29歳以下	89	1.1	0.0	1.1	0.0	7.9	4.5	14.6	30.3	12.4	18.0	4.5	5.6	
	30～39歳	120	0.8	0.0	0.0	0.0	6.7	5.8	14.2	25.8	13.3	21.7	10.8	0.8	
	40～49歳	147	1.0	0.0	0.0	0.0	4.8	8.2	16.3	24.5	10.9	17.0	12.2	5.4	
	50～59歳	173	1.7	0.6	2.3	0.0	6.4	5.8	10.4	32.4	9.8	11.6	14.5	4.6	
	60～69歳	210	1.4	0.5	1.0	0.0	8.1	8.6	14.3	21.9	9.0	13.8	15.7	5.7	
	70～79歳	184	1.1	1.1	0.0	0.0	9.2	5.4	15.2	16.8	11.4	14.7	10.3	14.7	
	80歳以上	41	2.4	2.4	0.0	0.0	7.3	2.4	4.9	14.6	4.9	14.6	17.1	29.3	
	住まいの地域	八雲地域	639	1.1	0.8	0.8	0.0	7.0	6.4	13.5	24.6	10.8	17.5	11.3	6.3
落部地域		69	0.0	0.0	1.4	0.0	8.7	5.8	17.4	24.6	7.2	17.4	8.7	8.7	
熊石地域		257	5.0	0.0	1.0	0.0	19.0	17.0	34.0	59.0	28.0	25.0	41.0	28.0	

<幸福度の点数化>

*幸福度の点数化は、「1を1点」～「10を10点」として、「0」「無回答」を除いた人数で平均値を算出

全体	29歳以下	30～49歳	50～69歳	70歳以上
7.74	7.86	7.99	7.55	7.55

問 17. 幸福度の判断に、特に重要な項目

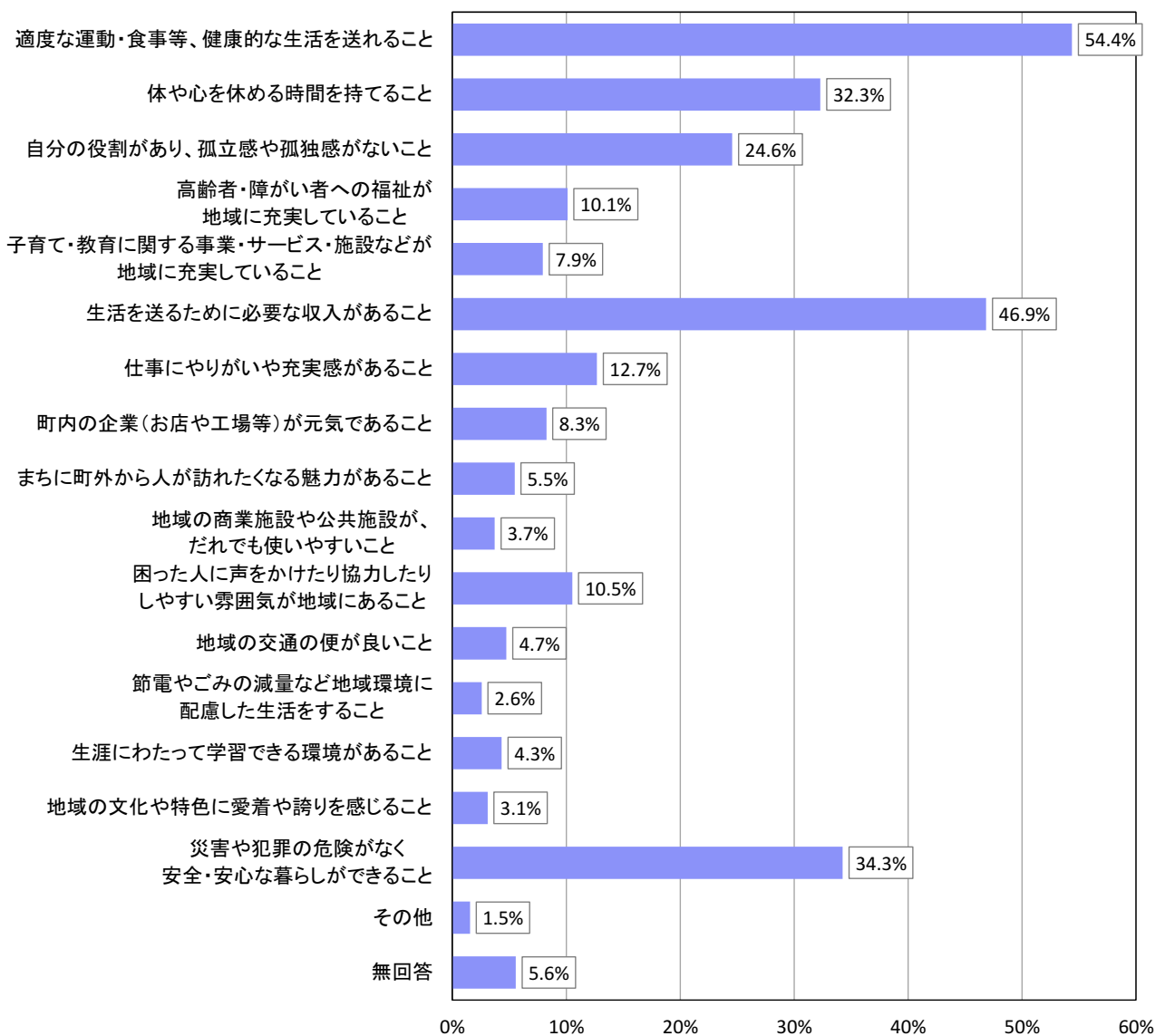
【MA】

<全体>

- 「適度な運動・食事等、健康的な生活を送れること」が54.4%と最も高く、次いで「生活を送るために必要な収入があること」が46.9%、「災害や犯罪の危険がなく安全・安心な暮らしができること」が34.3%となっています。

<年齢別>

- 「適度な運動・食事等、健康的な生活を送れること」は年齢が高くなるほど回答の割合が高くなる傾向があり、“60～69歳”“70～79歳”“80歳以上”で最も高くなっています。また、“30～39歳”“40～49歳”“50～59歳”では「生活を送るために必要な収入があること」が、“29歳以下”では「体や心を休める時間を持てること」の回答の割合が最も高くなっています。



(n=969)

第2章 調査結果

		合計	問17 幸福度の判断に、特に重要な項目									
			適度な運動・食事等、健康的な生活を送れること	体や心を休める時間を持つこと	自分の役割があり、孤立感や孤独感がないこと	高齢者・障がい者への福祉が地域に充実していること	子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが地域に充実していること	生活を送るために必要な収入があること	仕事ややりがいや充実感があること	町内の企業（お店や工場等）が元気であること	まちに町外から人が訪れたい魅力があること	地域の商業施設や公共施設が、だれでも使いやすいこと
全体		969 100.0	527 54.4	313 32.3	238 24.6	98 10.1	77 7.9	454 46.9	123 12.7	80 8.3	53 5.5	36 3.7
性別	男性	399 100.0	223 55.9	125 31.3	94 23.6	39 9.8	30 7.5	194 48.6	51 12.8	40 10.0	34 8.5	15 3.8
	女性	562 100.0	301 53.6	188 33.5	142 25.3	57 10.1	47 8.4	258 45.9	70 12.5	38 6.8	18 3.2	19 3.4
年齢	29歳以下	89 100.0	38 42.7	51 57.3	16 18.0	5 5.6	16 18.0	41 46.1	21 23.6	4 4.5	8 9.0	2 2.2
	30～39歳	120 100.0	54 45.0	48 40.0	22 18.3	4 3.3	34 28.3	73 60.8	23 19.2	13 10.8	9 7.5	5 4.2
	40～49歳	147 100.0	63 42.9	69 46.9	24 16.3	15 10.2	17 11.6	80 54.4	23 15.6	15 10.2	8 5.4	4 2.7
	50～59歳	173 100.0	93 53.8	51 29.5	51 29.5	8 4.6	3 1.7	95 54.9	32 18.5	14 8.1	11 6.4	5 2.9
	60～69歳	210 100.0	125 59.5	48 22.9	69 32.9	24 11.4	4 1.9	93 44.3	15 7.1	13 6.2	7 3.3	13 6.2
	70～79歳	184 100.0	126 68.5	39 21.2	49 26.6	31 16.8	3 1.6	57 31.0	9 4.9	16 8.7	8 4.3	4 2.2
	80歳以上	41 100.0	27 65.9	7 17.1	7 17.1	9 22.0	0 0.0	13 31.7	0 0.0	4 9.8	1 2.4	1 2.4
住まいの地域	八雲地域	639 100.0	347 54.3	209 32.7	158 24.7	53 8.3	58 9.1	302 47.3	87 13.6	55 8.6	40 6.3	28 4.4
	落部地域	69 100.0	37 53.6	26 37.7	13 18.8	5 7.2	6 8.7	35 50.7	6 8.7	5 7.2	4 5.8	2 2.9
	熊石地域	257 100.0	142 55.3	78 30.4	67 26.1	39 15.2	13 5.1	115 44.7	30 11.7	19 7.4	9 3.5	4 1.6

		合計	問17 幸福度の判断に、特に重要な項目							その他	無回答
			困った人に声をかけたり協力したりしやすい雰囲気が地域にあること	地域の交通の便が良いこと	節電やごみ減量など環境に配慮した生活すること	生涯にわたって学習できる環境があること	地域の文化や特色に愛着や誇りを感じることに愛着や誇りを感じることに	災害や犯罪の危険がなく安全・安心な暮らしができること			
全体		969 100.0	102 10.5	46 4.7	25 2.6	42 4.3	30 3.1	332 34.3	15 1.5	54 5.6	
性別	男性	399 100.0	37 9.3	17 4.3	5 1.3	16 4.0	21 5.3	144 36.1	6 1.5	15 3.8	
	女性	562 100.0	65 11.6	29 5.2	19 3.4	25 4.4	8 1.4	187 33.3	9 1.6	38 6.8	
年齢	29歳以下	89 100.0	9 10.1	7 7.9	1 1.1	5 5.6	1 1.1	17 19.1	2 2.2	3 3.4	
	30～39歳	120 100.0	9 7.5	2 1.7	1 0.8	6 5.0	4 3.3	27 22.5	4 3.3	5 4.2	
	40～49歳	147 100.0	9 6.1	8 5.4	0 0.0	4 2.7	6 4.1	51 34.7	3 2.0	3 2.0	
	50～59歳	173 100.0	25 14.5	4 2.3	4 2.3	7 4.0	5 2.9	58 33.5	4 2.3	7 4.0	
	60～69歳	210 100.0	21 10.0	15 7.1	10 4.8	10 4.8	7 3.3	83 39.5	2 1.0	12 5.7	
	70～79歳	184 100.0	23 12.5	7 3.8	9 4.9	9 4.9	5 2.7	83 45.1	0 0.0	14 7.6	
	80歳以上	41 100.0	6 14.6	3 7.3	0 0.0	0 0.0	1 2.4	13 31.7	0 0.0	9 22.0	
住まいの地域	八雲地域	639 100.0	59 9.2	30 4.7	20 3.1	34 5.3	17 2.7	224 35.1	12 1.9	31 4.9	
	落部地域	69 100.0	5 7.2	5 7.2	1 1.4	3 4.3	0 0.0	30 43.5	1 1.4	4 5.8	
	熊石地域	257 100.0	38 14.8	11 4.3	4 1.6	4 1.6	13 5.1	78 30.4	2 0.8	18 7.0	

6. 北海道新幹線の全線開業について

問 18. 北海道新幹線新八雲駅(仮称)開業に期待すること

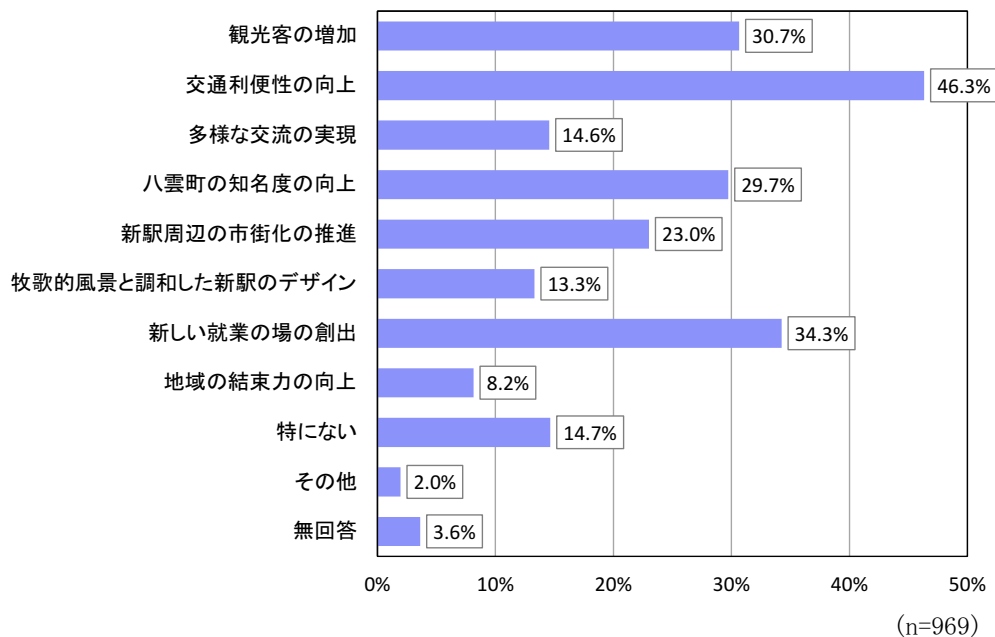
【MA】

<全体>

○「交通利便性の向上」が46.3%と最も高く、次いで「新しい就業の場の創出」が34.3%、「観光客の増加」が30.7%となっています。

<年齢別>

○年齢が若いほど「新駅周辺の市街化の推進」の回答の割合が高く、“29歳以下”では39.3%と「交通利便性の向上」の46.1%に次いで高くなっています。



		合計	問18 北海道新幹線新八雲駅(仮称)開業に期待すること										
			観光客の増加	交通利便性の向上	多様な交流の実現	八雲町の知名度の向上	新駅周辺の市街化の推進	牧歌的風景と調和した新駅のデザイン	新しい就業の場の創出	地域の結束力の向上	特にない	その他	無回答
全体		969	297	449	141	288	223	129	332	79	142	19	35
		100.0	30.7	46.3	14.6	29.7	23.0	13.3	34.3	8.2	14.7	2.0	3.6
性別	男性	399	137	193	77	123	102	52	155	33	46	6	7
		100.0	34.3	48.4	19.3	30.8	25.6	13.0	38.8	8.3	11.5	1.5	1.8
	女性	562	158	252	63	162	118	77	175	44	95	13	27
		100.0	28.1	44.8	11.2	28.8	21.0	13.7	31.1	7.8	16.9	2.3	4.8
年齢	29歳以下	89	32	41	7	26	35	9	20	3	16	1	0
		100.0	36.0	46.1	7.9	29.2	39.3	10.1	22.5	3.4	18.0	1.1	0.0
	30～39歳	120	45	54	13	40	35	16	44	8	15	3	2
		100.0	37.5	45.0	10.8	33.3	29.2	13.3	36.7	6.7	12.5	2.5	1.7
	40～49歳	147	42	81	27	30	43	16	55	10	18	2	2
		100.0	28.6	55.1	18.4	20.4	29.3	10.9	37.4	6.8	12.2	1.4	1.4
	50～59歳	173	47	92	27	51	34	21	70	11	20	6	1
		100.0	27.2	53.2	15.6	29.5	19.7	12.1	40.5	6.4	11.6	3.5	0.6
60～69歳	210	67	98	35	72	29	33	77	19	32	2	7	
	100.0	31.9	46.7	16.7	34.3	13.8	15.7	36.7	9.0	15.2	1.0	3.3	
70～79歳	184	53	64	27	58	38	32	53	23	31	5	16	
	100.0	28.8	34.8	14.7	31.5	20.7	17.4	28.8	12.5	16.8	2.7	8.7	
80歳以上	41	9	18	5	10	7	2	11	5	9	0	6	
	100.0	22.0	43.9	12.2	24.4	17.1	4.9	26.8	12.2	22.0	0.0	14.6	
住まいの地域	八雲地域	639	197	299	94	198	168	99	216	53	82	15	18
		100.0	30.8	46.8	14.7	31.0	26.3	15.5	33.8	8.3	12.8	2.3	2.8
	落部地域	69	16	31	10	24	13	8	20	4	15	1	2
	100.0	23.2	44.9	14.5	34.8	18.8	11.6	29.0	5.8	21.7	1.4	2.9	
熊石地域	257	83	118	37	65	41	22	95	22	44	3	14	
	100.0	32.3	45.9	14.4	25.3	16.0	8.6	37.0	8.6	17.1	1.2	5.4	

問 19. 北海道新幹線新八雲駅(仮称)開業に不安なこと

【MA】

<全体>

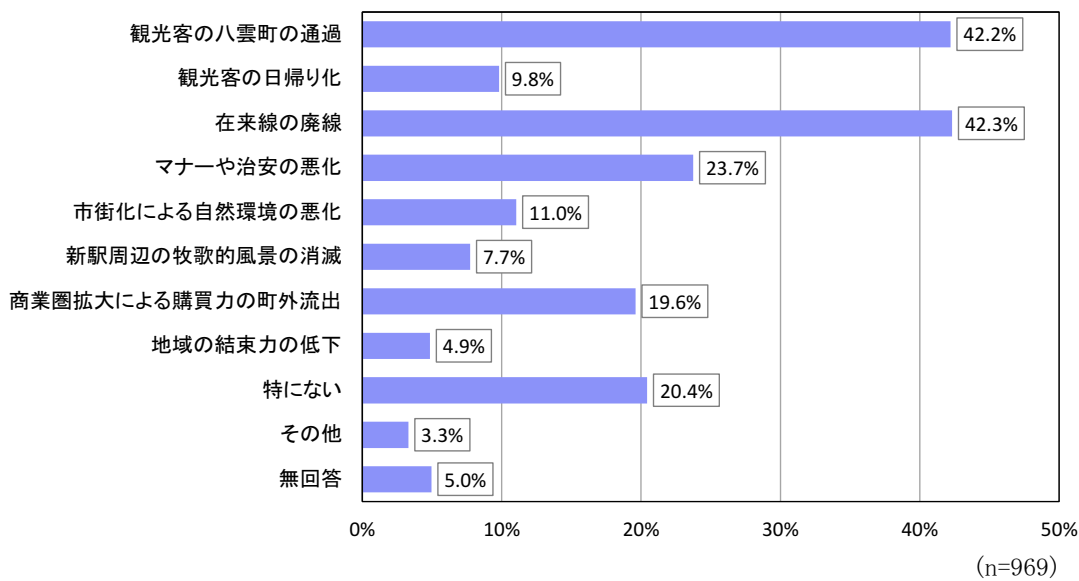
○「在来線の廃線」が42.3%と最も高く、次いで「観光客の八雲町の通過」が42.2%、「マナーや治安の悪化」が23.7%となっています。

<年齢別>

○“59歳以下”の年齢層では「観光客の八雲町の通過」、「60歳以上”の年齢層では「在来線の廃線」が最も高くなっています。

<地域別>

○“八雲地域”“落部地域”では「在来線の廃線」、「熊石地域”では「観光客の八雲町の通過」が最も高くなっています。



		問19 北海道新幹線新八雲駅(仮称)開業に不安なこと											
		合計	観光客の八雲町の通過	観光客の日帰り化	在来線の廃線	マナーや治安の悪化	市街化による自然環境の悪化	新駅周辺の牧歌的風景の消滅	商業圏拡大による購買力の町外流出	地域の結束力の低下	特にない	その他	無回答
全体		969	409	95	410	230	107	75	190	47	198	32	48
		100.0	42.2	9.8	42.3	23.7	11.0	7.7	19.6	4.9	20.4	3.3	5.0
性別	男性	399	181	40	184	84	44	35	81	21	78	18	9
		100.0	45.4	10.0	46.1	21.1	11.0	8.8	20.3	5.3	19.5	4.5	2.3
女性	562	225	55	224	145	60	38	105	26	119	14	38	
		100.0	40.0	9.8	39.9	25.8	10.7	6.8	18.7	4.6	21.2	2.5	6.8
年齢	29歳以下	89	27	6	24	25	12	5	13	1	27	6	3
		100.0	30.3	6.7	27.0	28.1	13.5	5.6	14.6	1.1	30.3	6.7	3.4
	30～39歳	120	53	14	43	47	14	7	17	6	22	5	1
		100.0	44.2	11.7	35.8	39.2	11.7	5.8	14.2	5.0	18.3	4.2	0.8
	40～49歳	147	57	17	51	43	13	10	20	6	38	9	2
		100.0	38.8	11.6	34.7	29.3	8.8	6.8	13.6	4.1	25.9	6.1	1.4
	50～59歳	173	81	14	80	40	15	12	38	3	41	3	5
		100.0	46.8	8.1	46.2	23.1	8.7	6.9	22.0	1.7	23.7	1.7	2.9
60～69歳	210	95	22	104	44	27	19	45	16	35	3	9	
	100.0	45.2	10.5	49.5	21.0	12.9	9.0	21.4	7.6	16.7	1.4	4.3	
70～79歳	184	81	19	89	25	18	21	49	12	28	5	19	
	100.0	44.0	10.3	48.4	13.6	9.8	11.4	26.6	6.5	15.2	2.7	10.3	
80歳以上	41	14	3	17	6	7	1	6	3	6	1	8	
	100.0	34.1	7.3	41.5	14.6	17.1	2.4	14.6	7.3	14.6	2.4	19.5	
住まいの地域	八雲地域	639	274	56	297	158	80	59	143	30	109	24	24
		100.0	42.9	8.8	46.5	24.7	12.5	9.2	22.4	4.7	17.1	3.8	3.8
	落部地域	69	29	8	35	16	8	4	7	1	15	2	2
	100.0	42.0	11.6	50.7	23.2	11.6	5.8	10.1	1.4	21.7	2.9	2.9	
熊石地域	257	105	31	77	56	19	12	39	16	73	6	21	
	100.0	40.9	12.1	30.0	21.8	7.4	4.7	15.2	6.2	28.4	2.3	8.2	

問 20. 北海道新幹線新八雲駅(仮称)開業を契機に取り組むべきこと

【MA】

<全体>

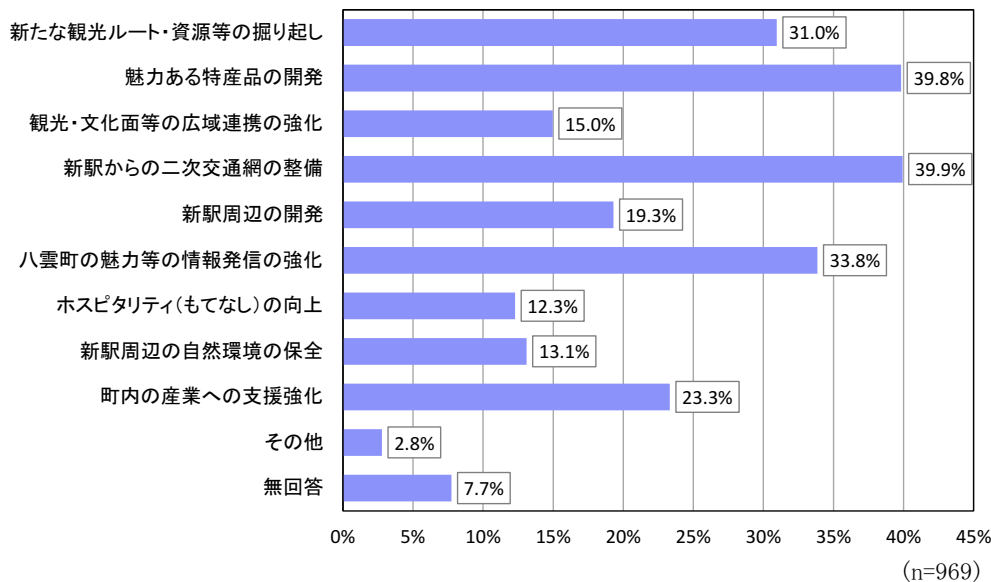
○「新駅からの二次交通網の整備」が 39.9%と最も高く、次いで「魅力ある特産品の開発」が 39.8%、「八雲町の魅力等の情報発信の強化」が 33.8%、「新たな観光ルート・資源等の掘り起し」が 31.0%となっています。

<年齢別>

○年齢が若くなるほど、「新駅周辺の開発」「ホスピタリティ（もてなし）の向上」の回答の割合が高くなる傾向がみられます。

<地域別>

○“八雲地域”“落部地域”では「魅力ある特産品の開発」、「熊石地域”では「新駅からの二次交通網の整備」がそれぞれ最も高くなっています。



	合計	問20 北海道新幹線新八雲駅(仮称)開業を契機に取り組むべきこと											
		新たな観光ルート・資源等の掘り起し	魅力ある特産品の開発	観光・文化面等の広域連携の強化	新駅からの二次交通網の整備	新駅周辺の開発	八雲町の魅力等の情報発信の強化	ホスピタリティ(もてなし)の向上	新駅周辺の自然環境の保全	町内の産業への支援強化	その他	無回答	
全体	969	300	386	145	387	187	328	119	127	226	27	75	
	100.0	31.0	39.8	15.0	39.9	19.3	33.8	12.3	13.1	23.3	2.8	7.7	
性別	男性	399	155	154	61	170	87	141	48	50	90	13	19
		100.0	38.8	38.6	15.3	42.6	21.8	35.3	12.0	12.5	22.6	3.3	4.8
性別	女性	562	145	229	82	213	98	186	70	76	131	14	55
		100.0	25.8	40.7	14.6	37.9	17.4	33.1	12.5	13.5	23.3	2.5	9.8
年齢	29歳以下	89	25	32	6	38	30	24	22	8	13	3	4
		100.0	28.1	36.0	6.7	42.7	33.7	27.0	24.7	9.0	14.6	3.4	4.5
	30～39歳	120	37	57	30	46	27	32	22	12	25	1	4
		100.0	30.8	47.5	25.0	38.3	22.5	26.7	18.3	10.0	20.8	0.8	3.3
	40～49歳	147	45	54	18	59	40	41	16	23	24	8	5
		100.0	30.6	36.7	12.2	40.1	27.2	27.9	10.9	15.6	16.3	5.4	3.4
	50～59歳	173	56	58	28	74	32	66	19	16	45	7	12
		100.0	32.4	33.5	16.2	42.8	18.5	38.2	11.0	9.2	26.0	4.0	6.9
60～69歳	210	64	83	32	87	28	87	25	35	52	4	15	
	100.0	30.5	39.5	15.2	41.4	13.3	41.4	11.9	16.7	24.8	1.9	7.1	
70～79歳	184	61	84	25	68	23	71	13	30	50	4	21	
	100.0	33.2	45.7	13.6	37.0	12.5	38.6	7.1	16.3	27.2	2.2	11.4	
80歳以上	41	12	15	6	13	6	7	1	3	14	0	13	
	100.0	29.3	36.6	14.6	31.7	14.6	17.1	2.4	7.3	34.1	0.0	31.7	
住まいの地域	八雲地域	639	199	269	93	252	136	230	79	89	142	23	36
		100.0	31.1	42.1	14.6	39.4	21.3	36.0	12.4	13.9	22.2	3.6	5.6
	落部地域	69	19	30	11	28	9	20	10	12	15	1	7
	100.0	27.5	43.5	15.9	40.6	13.0	29.0	14.5	17.4	21.7	1.4	10.1	
熊石地域	257	82	84	41	106	41	78	30	26	67	3	31	
	100.0	31.9	32.7	16.0	41.2	16.0	30.4	11.7	10.1	26.1	1.2	12.1	

問 21. 北海道新幹線新八雲駅(仮称)を活用するアイデア

【FA】

○148 人の方から 203 のご意見をいただきました。

分類	年齢区分	キーワード	件数
駅舎・施設	29歳以下	周辺施設整備（直売所、宿泊施設、ネットカフェ等）	7
	30～49歳	駅舎の活用（wi-fi 整備、合宿誘致、住民等の遊び場等）	15
		周辺施設整備（道の駅、体験学習施設、大学、商業施設等）	13
	50歳以上	周辺施設整備（直売所、宿泊施設、地元グルメ店、牧場等）	16
		駅舎の活用（バリアフリー、名称の工夫、冷暖房等）	9
	小 計		
観光・特産品	29歳以下	観光（美味しいものがある店のマップ作成等）	2
		特産品開発	1
	30～49歳	特産品（ブランド化、駅弁開発、限定グッズ販売等）	13
		観光（温泉・グルメ・体験ツアー、産直市の時間調整等）	12
	50歳以上	観光（スポーツ・探鳥・体験ツアー、周辺地域と連携等）	14
		特産品（駅弁開発、B級グルメ、ゆるキャラグッズ等）	11
小 計			53
受け入体制	29歳以下	交通利便性（無料の広い駐車場整備）	1
		サービス（駅員の接客力強化）	1
	30～49歳	交通利便性（二次交通整備（市街地・熊石等へ）等）	9
		サービス（途中下車0円、宿泊・飲食割引券の販売等）	4
	50歳以上	交通利便性（二次交通整備（現駅等へ）、ダイヤ調整等）	12
		サービス（ホスピタリティの学習、交通費支給等）	4
小 計			31
その他	29歳以下	PR（PR軍団・テーマソングを作る）	2
		町民との協働（駅ができるメリットをアピール）	1
		その他（新駅は不要）	1
	30～49歳	PR（メディアの活用、イメージ戦略、温泉アピール等）	10
		町民との協働（斬新な発想を取り入れる仕組みづくり等）	5
		その他（資金投入は不要、過度の期待禁物等）	6
	50歳以上	PR（目玉の設定、映画・ドラマのロケ地として活用等）	7
		町民との協働（若者のアイデアを取り入れてほしい等）	5
		その他（他地域の事例調査・研究、活用の計画策定等）	22
小 計			59
合 計			203

7. 将来の八雲町について

問 22. 望ましい将来の八雲町

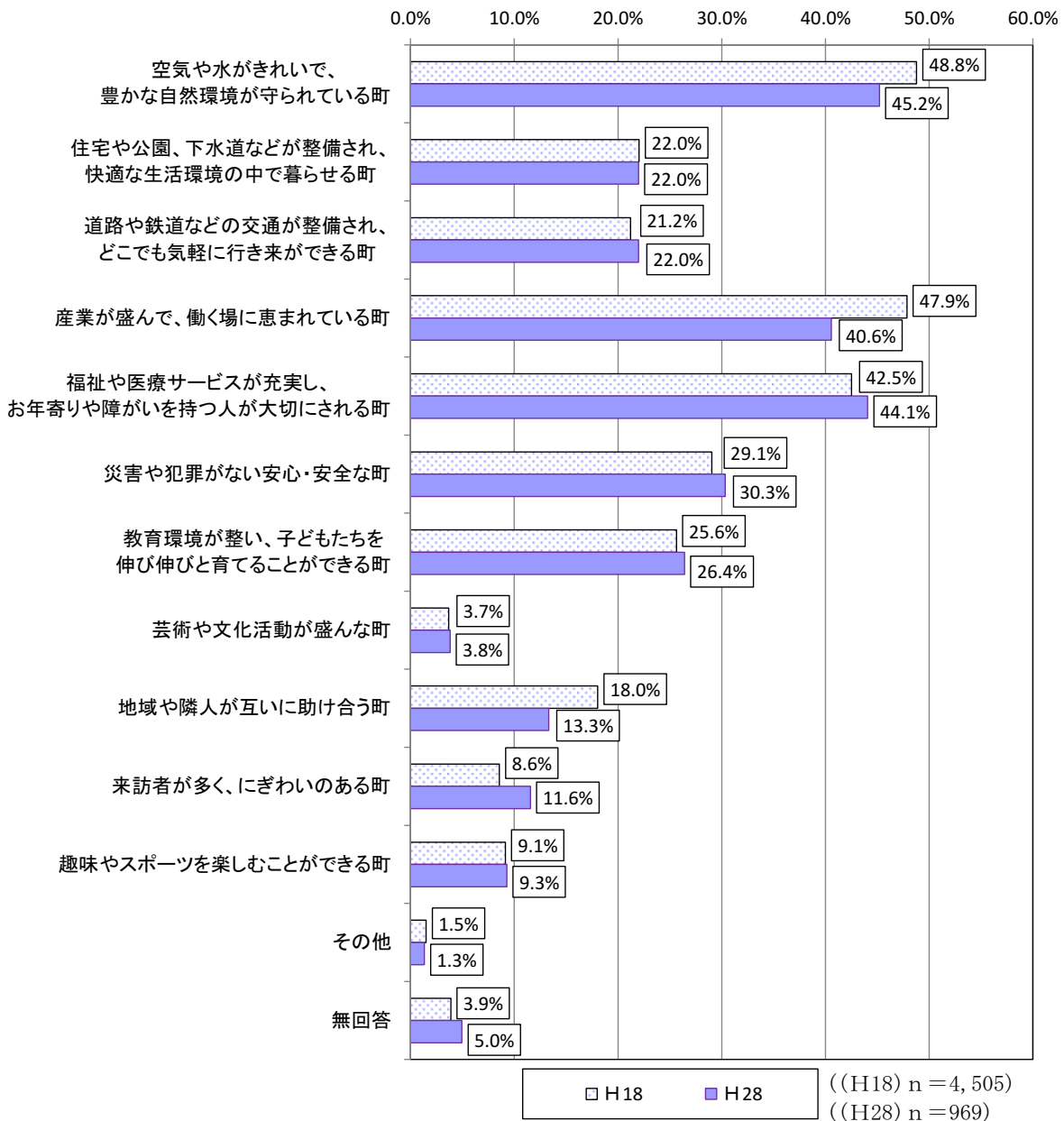
【MA】

<全体>

- 「空気や水がきれいで、豊かな自然環境が守られている町」が45.2%と最も高く、次いで「福祉や医療サービスが充実し、お年寄りや障がいを持つ人が大切にされる町」が44.1%、「産業が盛んで、働く場に恵まれている町」が40.6%となっています。10年前の結果と比較すると、「空気や水がきれいで、豊かな自然環境が守られている町」「産業が盛んで、働く場に恵まれている町」「地域や隣人が互いに助け合う町」の割合が減少しています。

<年齢別>

- “29歳以下”“80歳以上”では「福祉や医療サービスが充実し、お年寄りや障がいを持つ人が大切にされる町」、「30～39歳」では「教育環境が整い、子どもたちを伸び伸びと育てることができる町」、「40～59歳」では「産業が盛んで、働く場に恵まれている町」、「60～79歳」では「空気や水がきれいで、豊かな自然環境が守られている町」の回答の割合が最も高くなっています。



第2章 調査結果

		合計	問22 望ましい将来の八雲町									
			空気や水がきれいで、豊かな自然環境が守られている町	住宅や公園、下水道などが整備され、快適な生活環境の中で暮らせる町	道路や鉄道などの交通が整備され、どこでも気軽に行き来ができる町	産業が盛んで、働く場に恵まれている町	福祉や医療サービスが充実し、お年寄りや障がいを持つ人が大切にされる町	災害や犯罪がない安心・安全な町	教育環境が整い、子どもたちを伸ばし育てることができる町	芸術や文化活動が盛んな町	地域や隣人が互いに助け合う町	来訪者が多く、にぎわいのある町
全体		969 100.0	438 45.2	213 22.0	213 22.0	393 40.6	427 44.1	294 30.3	256 26.4	37 3.8	129 13.3	112 11.6
性別	男性	399 100.0	186 46.6	83 20.8	95 23.8	184 46.1	149 37.3	120 30.1	82 20.6	12 3.0	52 13.0	63 15.8
	女性	562 100.0	249 44.3	128 22.8	117 20.8	207 36.8	274 48.8	174 31.0	173 30.8	25 4.4	77 13.7	49 8.7
年齢	29歳以下	89 100.0	32 36.0	21 23.6	30 33.7	25 28.1	36 40.4	18 20.2	31 34.8	1 1.1	13 14.6	14 15.7
	30～39歳	120 100.0	53 44.2	31 25.8	18 15.0	44 36.7	43 35.8	34 28.3	57 47.5	5 4.2	16 13.3	13 10.8
	40～49歳	147 100.0	64 43.5	36 24.5	30 20.4	65 44.2	63 42.9	42 28.6	40 27.2	7 4.8	15 10.2	23 15.6
	50～59歳	173 100.0	72 41.6	38 22.0	35 20.2	90 52.0	74 42.8	53 30.6	42 24.3	7 4.0	21 12.1	20 11.6
	60～69歳	210 100.0	102 48.6	40 19.0	54 25.7	89 42.4	93 44.3	73 34.8	40 19.0	12 5.7	30 14.3	16 7.6
	70～79歳	184 100.0	97 52.7	37 20.1	39 21.2	66 35.9	95 51.6	63 34.2	39 21.2	3 1.6	28 15.2	22 12.0
	80歳以上	41 100.0	17 41.5	9 22.0	7 17.1	12 29.3	21 51.2	11 26.8	7 17.1	2 4.9	6 14.6	4 9.8
	住まいの地域	八雲地域	639 100.0	280 43.8	155 24.3	128 20.0	244 38.2	297 46.5	202 31.6	177 27.7	26 4.1	77 12.1
落部地域		69 100.0	34 49.3	14 20.3	19 27.5	24 34.8	33 47.8	20 29.0	24 34.8	2 2.9	10 14.5	3 4.3
熊石地域		257 100.0	123 47.9	43 16.7	66 25.7	123 47.9	95 37.0	72 28.0	55 21.4	9 3.5	42 16.3	28 10.9

		合計	問22 望ましい将来の八雲町		
			趣味やスポーツを楽しむことができる町	その他	無回答
全体		969 100.0	90 9.3	13 1.3	48 5.0
性別	男性	399 100.0	42 10.5	7 1.8	20 5.0
	女性	562 100.0	44 7.8	6 1.1	26 4.6
年齢	29歳以下	89 100.0	14 15.7	0 0.0	3 3.4
	30～39歳	120 100.0	12 10.0	6 5.0	4 3.3
	40～49歳	147 100.0	13 8.8	1 0.7	5 3.4
	50～59歳	173 100.0	20 11.6	1 0.6	6 3.5
	60～69歳	210 100.0	12 5.7	4 1.9	12 5.7
	70～79歳	184 100.0	12 6.5	1 0.5	9 4.9
	80歳以上	41 100.0	5 12.2	0 0.0	7 17.1
	住まいの地域	八雲地域	639 100.0	64 10.0	8 1.3
落部地域		69 100.0	6 8.7	0 0.0	4 5.8
熊石地域		257 100.0	18 7.0	5 1.9	14 5.4

8. 自由意見

○253人の方から446のご意見をいただきました。

項目	キーワード	件数
産業・雇用	雇用の創出（企業誘致、若者・子育て中の女性・障がい者等の働く場等）	37
	商業の活性化（商店街の活用、商業施設誘致、若者向け店舗誘致等）	31
	既存産業の振興（第1次・第2次産業、雇用環境整備、担い手の育成等）	13
	その他（6次産業化、温泉熱・海洋深層水等の活用による新産業創設等）	8
	小計	89
基盤整備	医療（設備・体制強化、病院の対応について、介護との複合施設化等）	32
	交通（熊石⇄八雲の交通整備、既存鉄道・バスの継続、歩道整備等）	24
	情報（wi-fi等ネット環境整備、広報・HPの内容充実、電波状況改善等）	15
	その他（時報の音楽改善、図書館開館時間延長、除草・除雪・害虫対策等）	17
	小計	88
観光	観光開発（体験型観光、特産品開発、廃校の活用、ホタテの成長観察等）	24
	PR（映画に活用、アピールポイントの明確化、歴史・文化を発信等）	14
	イベント（既存の祭りの一本化、肉フェス開催、はぴあ産市の時間延長等）	13
	小計	51
教育・子育て	助成強化（医療費助成の見直し、保育料の低減、給食費補助等）	24
	学校機能整備（給食設備整備、校舎新設、大学・専門学校誘致等）	9
	その他（子どもの遊び場整備等）	6
	小計	39
その他	行政・議会（町長・議員・職員について、財政について等）	44
	まちづくり（長期的ビジョン検討、人材育成、先進事例活用、若者中心等）	28
	協働（町の取組の共有化、町民の声を取り入れる仕組み・場づくり等）	23
	地域（地域間の格差、地域差の考慮希望、八雲・熊石の一体化促進等）	18
	人口問題（若者を優先、高齢者福祉の充実、元気な高齢者の活用等）	16
	その他（安全について、空き家対策、環境保全、アンケートについて等）	50
	小計	179
合計		446

第3章 町民満足度評価分析

1. 分析方法

◇本章では、現行計画である『新八雲町総合計画』におけるまちづくりの分野に対する改善度・満足度・重要度（問8～10）の集計結果を点数化し、CS（住民満足度）分析を行っています。

＜点数化の手法＞

改善度	満足度	重要度	点数化	処理
良くなった	満足	重要	10点	改善度、満足度、重要度それぞれについて、合計点数を対象サンプル数で除して平均値を算出
やや良くなった	やや満足	やや重視	5点	
変わらない	どちらでもない	どちらでもない	0点	
やや悪くなった	やや不満	あまり重要でない	-5点	
悪くなった	不満	重要でない	-10点	
無回答	無回答	無回答	除外	

【計算例（改善度）】

＜回答結果＞

良くなった	10 サンプル
やや良くなった	20
変わらない	50
やや悪くなった	30
悪くなった	15
合計	125

＜計算式＞

$$\left[(10 \times 10) + (20 \text{ サンプル} \times 5) + (50 \times 0) + (30 \times -10) + (15 \times -10) \right] / 125 = -2.0$$

※小数点第2位を四捨五入して算出・表示

※仮に回答者全員が「良くなった」を選択した場合、10点満点となる

＜分析の視点＞

◇改善度・満足度・重要度を得点化し、「改善度と満足度」「満足度と重要度」の関係性をグラフ上に示し、平均値を基準に分類することで、まちづくりの分野を複合的に評価しています。

【例：改善度と満足度の分類】

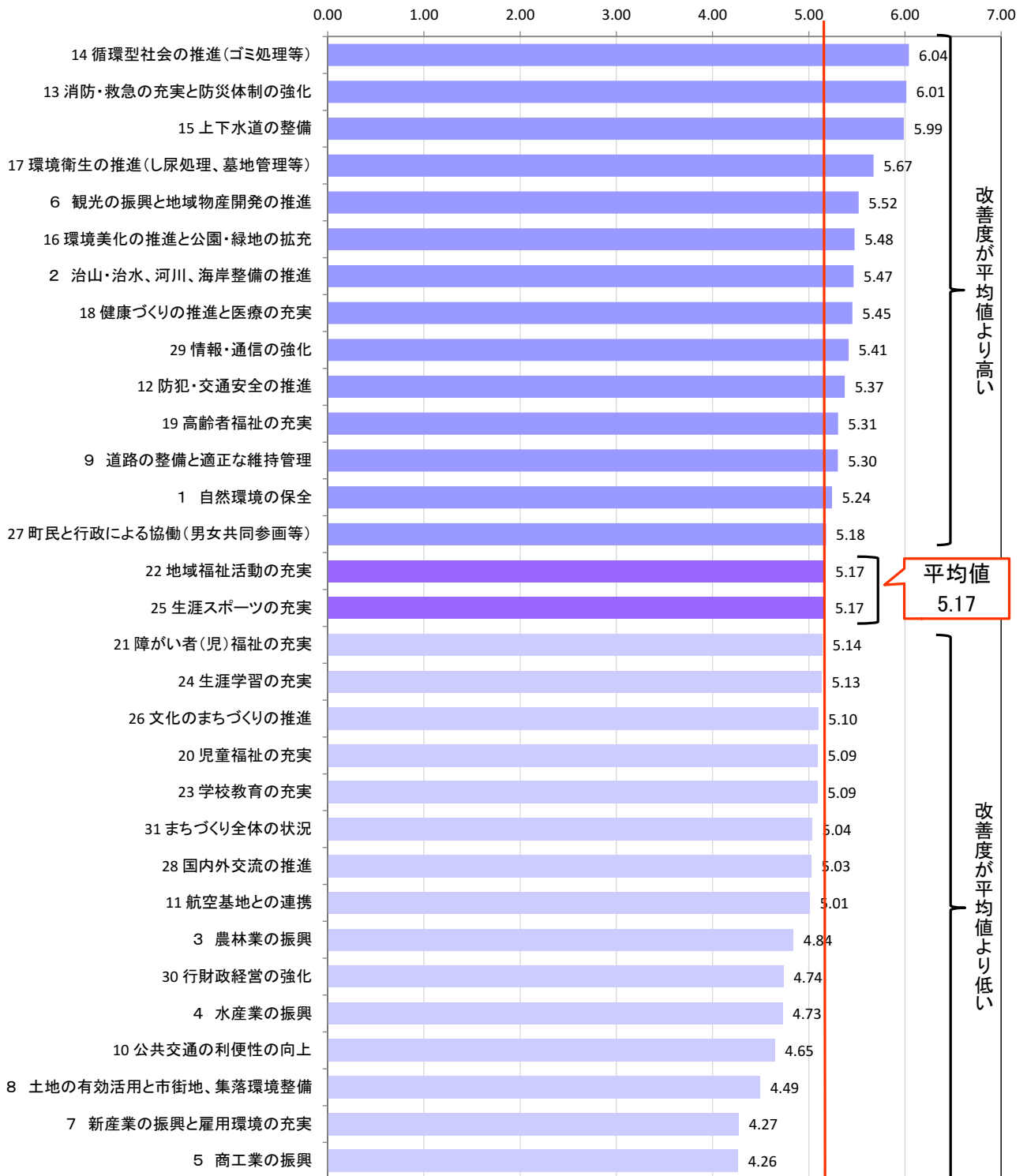
- I：改善度が高く、満足度も高い項目
- II：改善度は高いが、満足度は低い項目
- III：改善度は低いが、満足度は高い項目
- IV：改善度が低く、満足度も低い項目

2. 分析結果

1. 平成20年度以降のまちづくりの分野ごとの改善度(問8)

【SA】

- 改善度の全体の平均値は5.17で、最も改善度が高い分野の「14 循環型社会の推進(ゴミ処理等)」が6.04、次いで「13 消防・救急の充実と防災体制の強化」が6.01、「15 上下水道の整備」が5.99となっています。
- 一方で、最も改善度が低い分野の「5 商工業の振興」が4.26、次いで「7 新産業の振興と雇用環境の充実」が4.27、「8 土地の有効活用と市街地、集落環境整備」が4.49となっています。

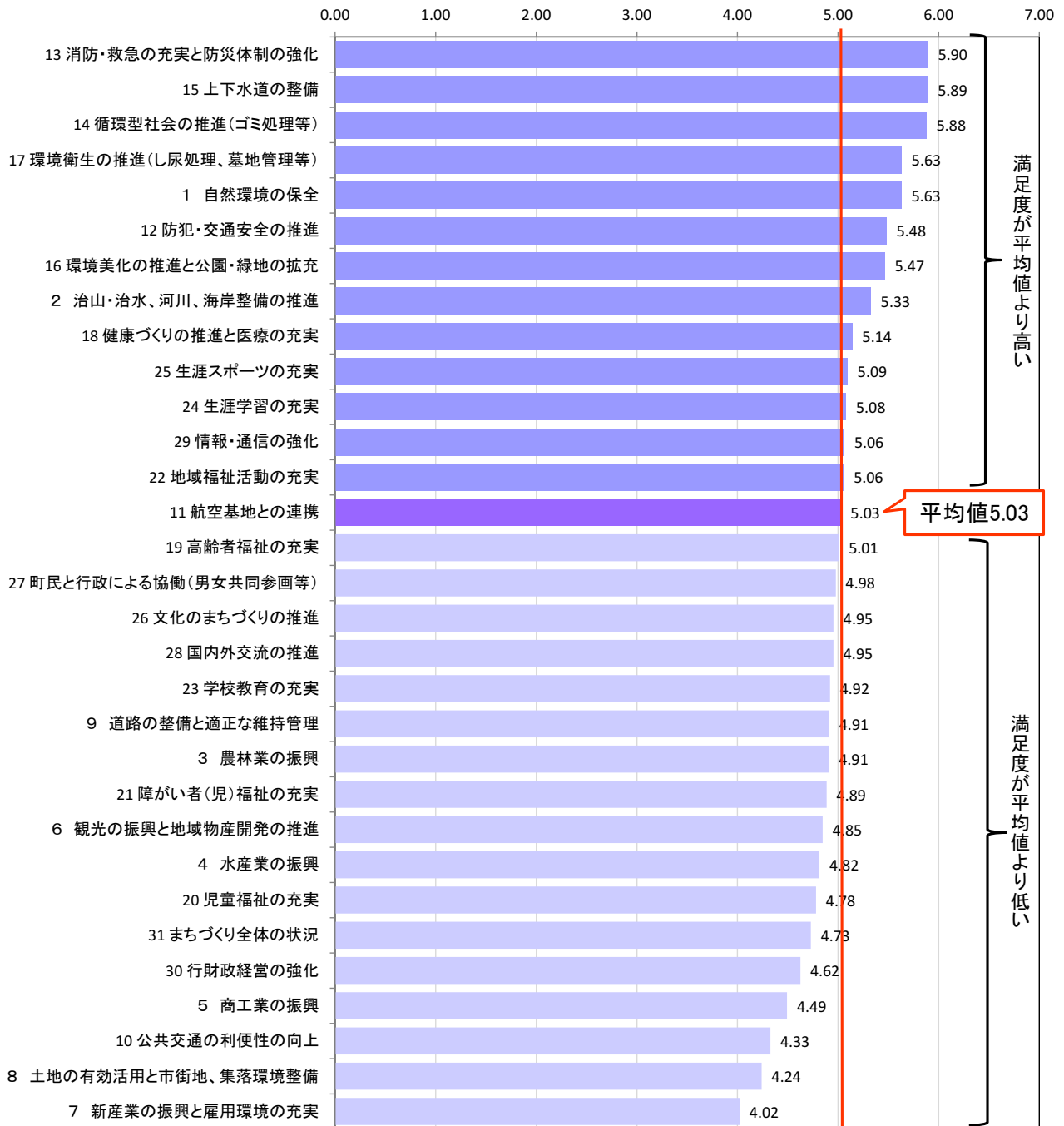


2. 現在のまちづくりの分野ごとの満足度(問9)

【SA】

○満足度の全体の平均値は 5.03 で、最も満足度が高い施策は「13 消防・救急の充実と防災体制の強化」で 5.90、次いで「15 上下水道の整備」が 5.89、「14 循環型社会の推進(ゴミ処理等)」が 5.88 となっています。

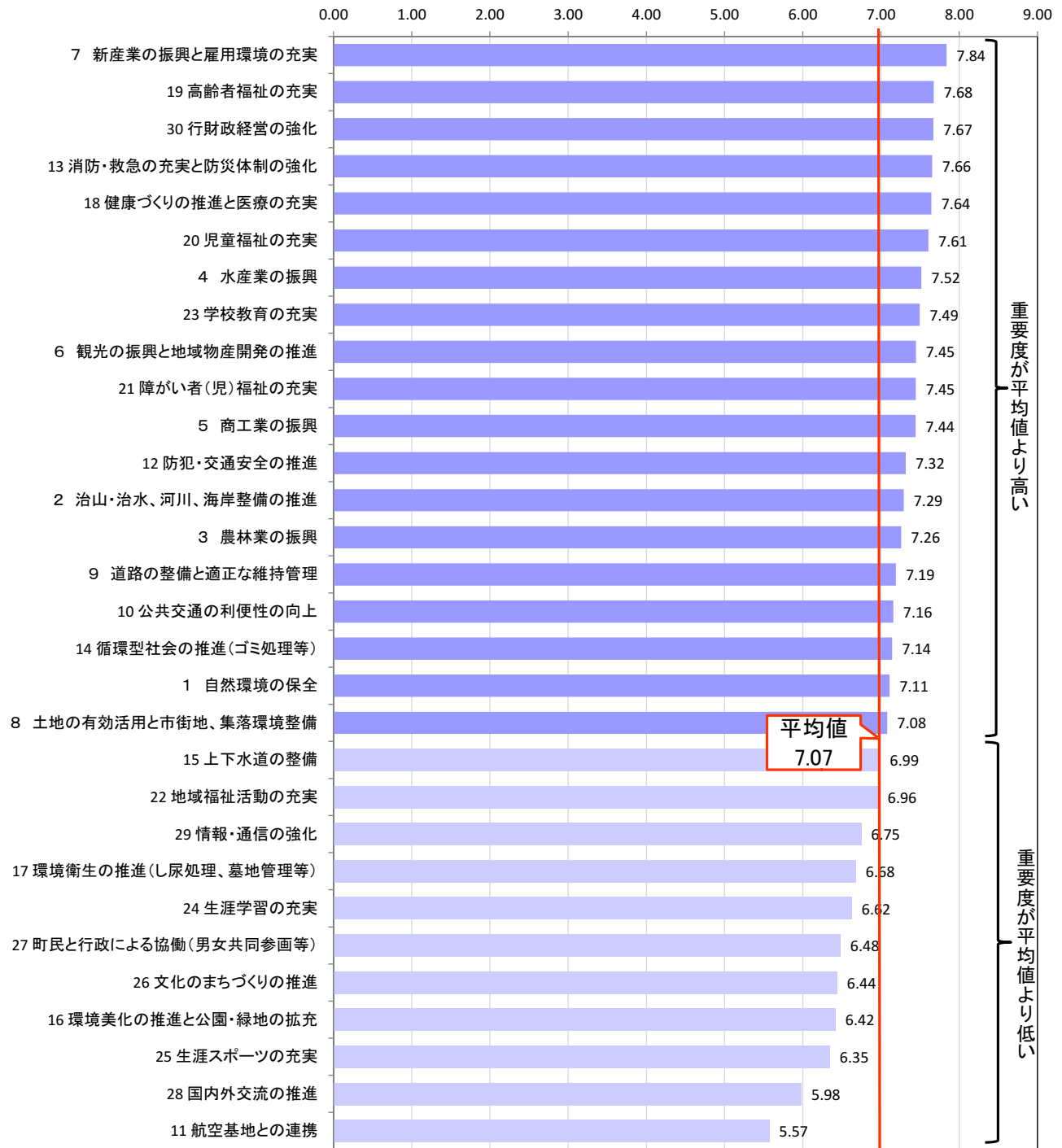
○また、最も満足度が低い施策は「7 新産業の振興と雇用環境の充実」で 4.02、次いで「8 土地の有効活用と市街地、集落環境整備」が 4.24、「10 公共交通の利便性の向上」が 4.33 となっています。



3. 今後のまちづくりの分野ごとの重要度(問 10)

【SA】

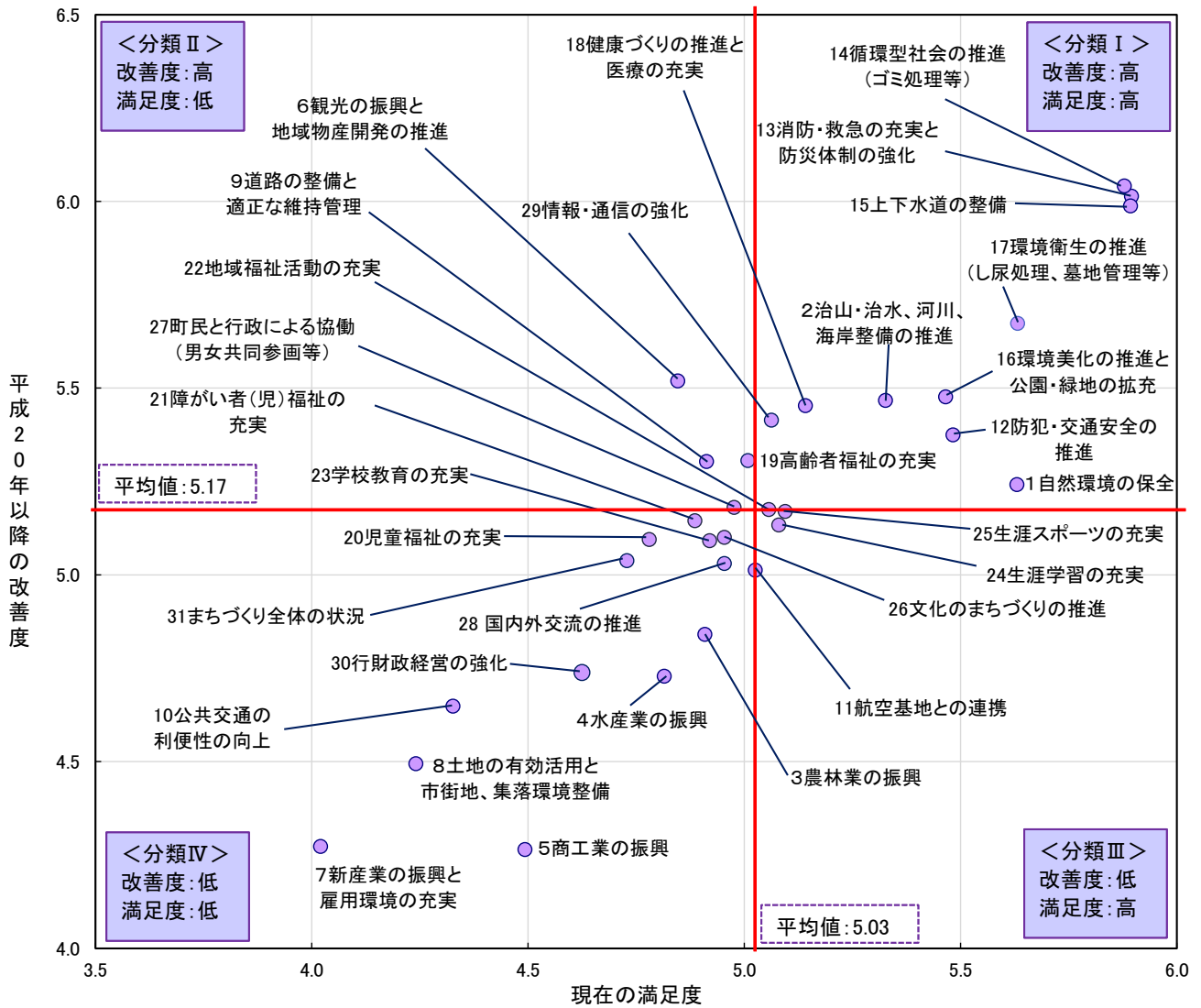
- 重要度の全体の平均値は 7.07 で、最も重要度が高い分野は「7 新産業の振興と雇用環境の充実」で 7.84、「19 高齢者福祉の充実」が 7.68、「30 行財政経営の強化」が 7.67 となっています。
- また、最も重要度が低い分野は「11 航空基地との連携」で 5.57、次いで「28 国内外交流の推進」が 5.98、「25 生涯スポーツの充実」が 6.35 となっています。



4. まちづくりの分野ごとの改善度と満足度(問8、問9)

【SA】

- 改善度、満足度ともに全体の平均値より高い『分類Ⅰ』に該当するまちづくり分野は、「13 消防・救急の充実と防災体制の強化」など、10 分野となっています。
- 改善度、満足度ともに全体の平均値より低い『分類Ⅳ』に該当するまちづくり分野は、「7 新産業の振興と雇用環境の充実」など、14 分野となっています。



<分類Ⅰに該当する分野>

まちづくり分野	改善度	満足度
1 自然環境の保全	5.24	5.63
2 治山・治水、河川、海岸整備の推進	5.47	5.33
12 防犯・交通安全の推進	5.37	5.48
13 消防・救急の充実と防災体制の強化	6.01	5.90
14 循環型社会の推進(ゴミ処理等)	6.04	5.88
15 上下水道の整備	5.99	5.89
16 環境美化の推進と公園・緑地の拡充	5.48	5.47
17 環境衛生の推進(し尿処理、墓地管理等)	5.67	5.63
18 健康づくりの推進と医療の充実	5.45	5.14
29 情報・通信の強化	5.41	5.06

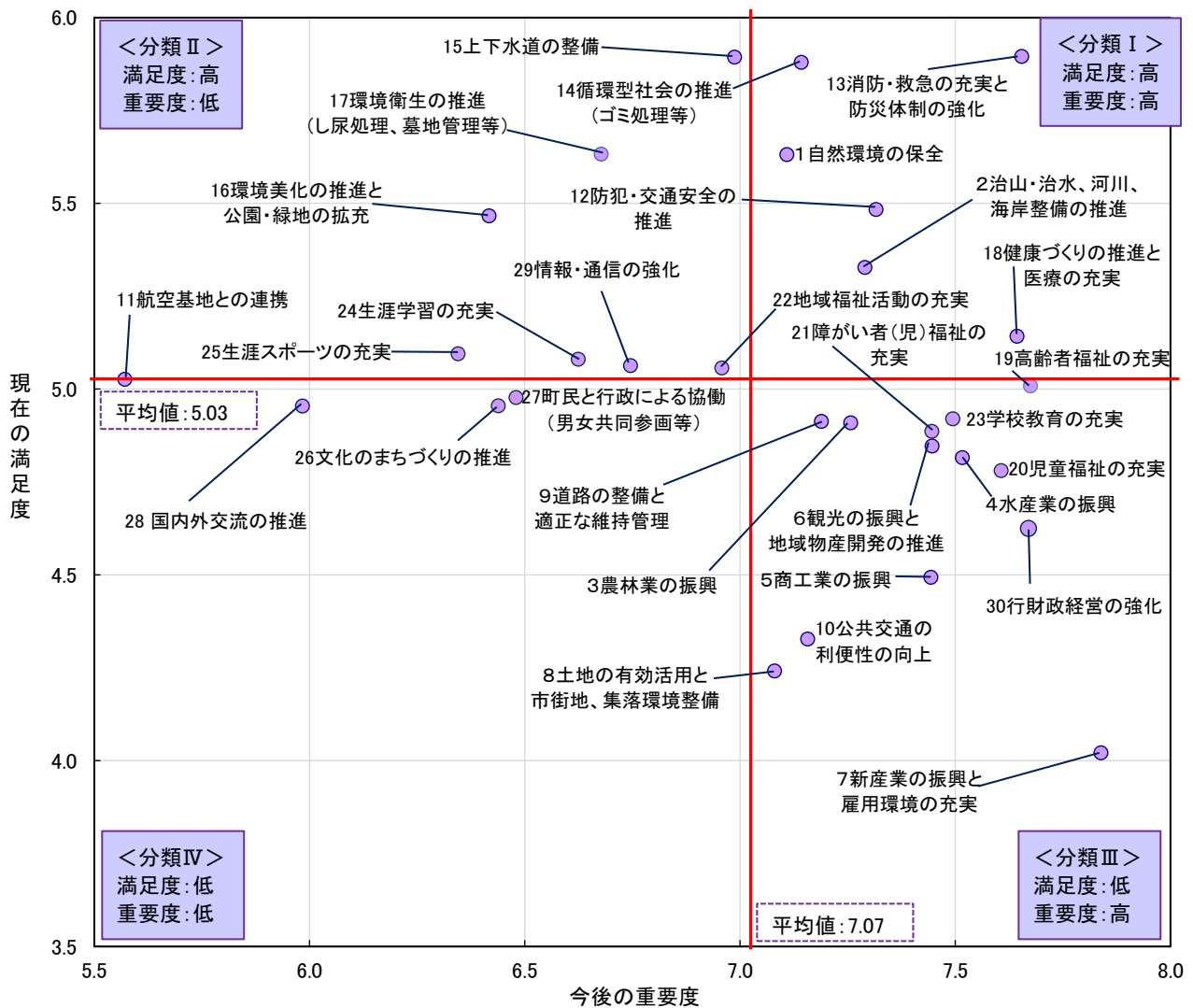
<分類Ⅳに該当する分野>

まちづくり分野	改善度	満足度
3 農林業の振興	4.84	4.91
4 水産業の振興	4.73	4.82
5 商工業の振興	4.26	4.49
7 新産業の振興と雇用環境の充実	4.27	4.02
8 土地の有効活用と市街地、集落環境整備	4.49	4.24
10 公共交通の利便性の向上	4.65	4.33
11 航空基地との連携	5.01	5.03
20 児童福祉の充実	5.09	4.78
21 障がい者(児)福祉の充実	5.14	4.89
23 学校教育の充実	5.09	4.92
26 文化のまちづくりの推進	5.10	4.95
28 国内外交流の推進	5.03	4.95
30 行財政経営の強化	4.74	4.62
31 まちづくり全体の状況	5.04	4.73

5. まちづくりの分野ごとの満足度と重要度(問9、問10)

【SA】

- 満足度、重要度ともに全体の平均値より高い『分類Ⅰ』に該当するまちづくり分野は、「13 消防・救急の充実と防災体制の強化」など、6分野となっています。
- 満足度、重要度ともに全体の平均値より低い『分類Ⅲ』に該当するまちづくり分野は、「7 新産業の振興と雇用環境の充実」など、13分野となっています。



<分類Ⅰに該当する分野>

まちづくり分野	満足度	重要度
1 自然環境の保全	5.63	7.11
2 治山・治水、河川、海岸整備の推進	5.33	7.29
12 防犯・交通安全の推進	5.48	7.32
13 消防・救急の充実と防災体制の強化	5.90	7.66
14 循環型社会の推進(ゴミ処理等)	5.88	7.14
18 健康づくりの推進と医療の充実	5.14	7.64

<分類Ⅲに該当する分野>

まちづくり分野	満足度	重要度
3 農林業の振興	4.91	7.26
4 水産業の振興	4.82	7.52
5 商工業の振興	4.49	7.44
6 観光の振興と地域物産開発の推進	4.85	7.45
7 新産業の振興と雇用環境の充実	4.02	7.84
8 土地の有効活用と市街地、集落環境整備	4.24	7.08
9 道路の整備と適正な維持管理	4.91	7.19
10 公共交通の利便性の向上	4.33	7.16
19 高齢者福祉の充実	5.01	7.68
20 児童福祉の充実	4.78	7.61
21 障がい者(児)福祉の充実	4.89	7.45
23 学校教育の充実	4.92	7.49
30 行財政経営の強化	4.62	7.67